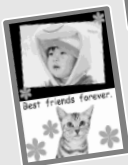


Colorio  
**PhotoPC**  
Link

# L-410

## ユーザーズガイド



# EPSON

準備

基本的な使い方

画像の印刷

その他の機能

カメラの設定

パソコンで使う

困ったときは





付録

4048715-00  
XXX

## 本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

### マーク


|   |  |
|---|--|
|  <b>注意</b>   | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  <b>ポイント</b> | 必ず知っておいていただきたいことを記載しています。  |
|  <b>メモ</b>   | 知っておくと便利なことを記載しています。   |
|              | 関連した内容の参照ページを示しています。   |

### 商標等の表記






- 商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書Version1.00 に対する著作権を保有しています。
- DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の規格略称です。
- PRINT Image Matching は当社の登録商標です。
- PRINT Image Framer は当社の登録商標です。本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。
- MultiMediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

# 安全にお使いいただくために












- 本製品を正しく安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。
- 本製品、同梱品、およびオプション品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および製品添付の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、いつでも見ることができる場所に、「保証書」とともに大切に保管してください。
- 本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

|   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|---|--|








また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

|   |                               |   |                                 |
|---|-------------------------------|---|---------------------------------|
|  | この記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。 |  | この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。 |
|  | この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。   |  | この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。  |
|  | この記号は、分解禁止を示しています。            |   |                                 |

## ■ 本体の取り扱いについて









|  <b>警告</b> |   |
|---|---|
| <p><b>煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。</b><br/>感電・火災の原因となります。</p>                       |     |
| <p><b>異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。</b><br/>感電・火災の原因となります。</p>                        |   |
| <p><b>本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。</b><br/>故障・感電・火災の原因となります。</p>                            |   |
| <p><b>お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。分解や改造はしないでください。</b><br/>けがや感電・火災の原因となります。</p>              |   |
| <p><b>開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。</b><br/>感電・火災の原因となります。</p>                |   |

## 警告

|   |   |
|---|---|
| 各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。<br>配線を誤ると、火災のおそれがあります。   |  |
| 布団などで覆った状態で使用しないでください。特にACアダプタの周辺を覆わないようご注意ください。<br>熱がこもってケースが変形したり、火災・感電のおそれがあります。   |  |
| 可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。(電源をオフにしてください)<br>引火・爆発の原因となります。   |  |
| 歩行中や、自動車・オートバイ・自転車などを運転しながら使用しないでください。<br>転倒・交通事故などの原因となります。  |  |
| 液晶モニタが破損した場合は、中の液晶に十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。<br>• 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し石鹸でよく洗浄してください。<br>• 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。<br>• 飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。 |  |
| 太陽や強い光に向けて撮影しないでください。<br>目に傷害を起こすおそれがあります。  |  |
| カメラを人の前に近づけて撮影しないでください。<br>目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。  |  |

## ■ 電池の取り扱いについて

### 警告

|   |   |
|---|---|
| 電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に直接接続しないでください。                        |    |
| 電池の-と+を針金などの金属で接続(ショート)したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち歩いたり保管したりしないでください。 |   |
| 電池の液が目に入った場合、皮膚、衣服に付いた場合には、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。                 |  |
| 電池の向きを逆にしてカメラに入れしないでください。   |  |
| 電池の外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。  |  |
| 乾電池は充電しないでください。(2次)充電電池は専用の充電器以外で充電しないでください。                        |  |
| 新旧電池、別の商品の電池、充電した電池と放電した電池を混ぜて使わないでください。                            |  |
| 電池が液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。                    |  |

**警告**

小さなお子さまの手の届くところには、保管・放置しないでください。  
電池を飲み込んでしまうおそれがあります。



充電式電池をご使用の際はお使いの電池、充電器の取扱説明書に従って正しくご使用ください。



## 正しくお使いいただくために

### ■ 本体の取り扱いについて

- 本製品は精密な機械、電子部品で作られています。次のような場所での使用や保管は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

|   |   |   |
|---|---|---|
| 直射日光の当たる場所<br> | ほこりや塵の多い場所<br> | 湿度変化の激しい場所<br> |
| 温度変化の激しい場所<br> | 火気のある場所<br>    | 水に濡れやすい場所<br>  |
| 揮発性物質のある場所<br> | 冷暖房機具に近い場所<br> | 振動のある場所<br>    |

- 本製品は、以下の環境で使用してください。
  - 温度 5℃～35℃（動作時）
  - 湿度 30%～80%（動作時、非結露）
 ※特に炎天下など、製品が高温になる場所では使用しないでください。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。動作不良や故障の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）や、他の機器の振動が伝わる所など、振動しがちな場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。特に小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがをするおそれがあります。
- テレビ・ラジオに近い場所では使用しないでください。本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合していますが、微弱な電波は発信しております。お近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- フラッシュにゴミなどが付着しないようにしてください。発煙や発火の原因となります。

## ■「つゆつき」について

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、本機の内部に水滴が生じる（結露する）ことがあります。内部に結露が生じた状態で使用すると故障することがあります。寒いところから暖かいところへ持ち込むときは、できるだけ本機を密閉ケースなどに入れたまましばらく放置してから取り出してください。

## ■液晶モニタについて

- 一部に常時点灯または常時点灯しない画素が存在することがあります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。変形、変質、ひび割れなどのおそれがあります。
- AMラジオやチューナーの近くでは使用しないでください。雑音電波の影響を受けます。

## ■本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含まれます。以下同じ。）の不具合によって撮影、記録、データ転送などが正常に行えなかった場合、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

## ■動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、本製品やメモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。

## ■パソコンおよび周辺機器について

パソコン、プリンタ、CD-R/RWドライブなどの取り扱いは、各製品の取扱説明書をよくお読みになり、各メーカーが定める取り扱いに従ってください。

## ■その他

- 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。
- 本書の製品イラスト、アイコン、メニュー画面などは、実物と多少異なる場合があります。

# 本機の特長

エプソンL-410をお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、高品位な画像を簡単に撮れるデジタルカメラです。撮影のための機能はもちろん、カメラから直接印刷できるダイレクトプリント、DPOF規格対応の印刷予約など、多彩な機能が搭載されています。本書をよくお読みになり、末永くご使用ください。

## カメラから直接印刷できます

USBを搭載したエプソン製プリンタ(☞P.35「対応プリンタ」)を使えば、パソコンがなくても、カメラからプリンタへ直接接続し印刷できる「ダイレクトプリント」機能を搭載しています。(☞P.34「ダイレクトプリント」)



## 初心者にも優しい親切設計

すぐに使える簡単撮影モードの「オート撮影モード」を搭載。操作も簡単。よく使う機能は、ボタン1つで設定できるような設計されています。買ったその日から、思い通りの写真が撮影できます。



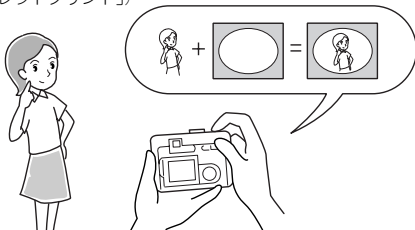
## 写真にフレームを付けて撮影できます

写真にオリジナルのフレーム(額縁)を付けて撮影ができ、そのまま「ダイレクトプリント」もできます。

フレームの種類も豊富、撮影後にフレームの変更もできます。

(☞P.29「PRINT Image Framerについて」)

(☞P.34「ダイレクトプリント」)



# 目次

安全にお使いいただくために / 1

正しくお使いいただくために / 3

本機の特長 / 5

カメラから直接印刷できます / 5

初心者に優しい親切設計 / 5

写真にフレームを付けて

撮影できます / 5

## 準備 / 8

同梱物の確認 / 8

各部の名称 / 9

電池/メモリーカードのセット / 11

電源のオンとオフ / 14

電源の入れ方 / 切り方 / 14

初めて電源を入れたときは / 14

表示を確認する / 16

電池は残っていますか / 16

撮影可能枚数は十分ですか / 16

## 基本的な使い方 / 17

手順早分かり / 17

撮影する / 18

電源を入れる / 18

モードを選ぶ / 19

モニタ表示のしかたを選ぶ / 20

カメラを正しく構える / 21

シャッターを切る (静止画) / 22

よく使う機能 / 25

拡大して撮影する / 25

近くのを撮影する

(接写する) / 26

フラッシュを使う / 26

セルフタイマを使う / 28

フレームを付けて撮影する / 29

フレーム付きで撮影する

(P.I.F. 撮影) / 29

撮影した画像をカメラで見る / 31

再生モードにする / 31

フレームを付ける / なしにする / 32

画像を1枚ずつ消去する / 33

## 画像の印刷 / 34

ダイレクトプリント / 34

対応プリンタ / 35

ダイレクトプリントで

使用できる用紙 / 35

プリンタと接続する / 36

印刷の設定をする / 37

印刷方法を選ぶ / 38

印刷枚数や画像を設定する / 39

印刷設定を設定する / 43

印刷する / 44

プリンタ用ユーティリティ / 45

インク残量確認 / 45

ノズルチェック / 46

ヘッドクリーニング / 46

ギャップ調整 / 47

## その他の機能 / 48

設定を変更して撮影する / 48

撮影メニューの設定のしかた / 49

被写体に合った撮影条件にする

---- シーンモード / 50

画質を設定する ---- 画質 / 50

画像の明るさを補正する

---- 露出補正 / 51

ISO感度を固定する ---- 感度 / 51

色合いを調節する

---- ホワイトバランス / 51

## 便利な機能 / 52

クイックビュー / 音声メモ / 52

## 動画を撮影する / 53

動画の撮影 / 53

## 再生モードの機能 / 55

動画・音声メモを再生する / 55

再生メニューの機能 / 56

再生メニューの設定のしかた / 56

連続画像消去 / 58

全画像消去 / 58

連写グループ消去 / 59

スライドショー / 60

音声メモの消去 / 録音 / 61

画像コピー / 62

印刷予約 (DPOF) / 62

## フレームデータを管理する / 64

フレームデータを

コピー / 削除する / 64

## カメラの設定 / 65

### SETUPモード / 65

SETUPモードでできること / 65

### カメラの設定を変更する / 66

設定の変更のしかた / 66

フォーマット (初期化) について / 68

起動画面に撮影した画像を

表示する / 69

動作音を変更する / 70

## パソコンで使う / 74

### パソコンと接続する / 74

接続のしかた / 74

### 付属ソフトウェアについて / 75

ソフトウェアの紹介 / 75

ソフトウェアのインストール / 76

ソフトウェアの起動方法 / 82

ソフトウェアの使い方を

知りたいときは / 83

EPSON L-410 ストレージドライバの

アンインストール / 84

### 「MyEPSON」について知りたい / 85

すでに「MyEPSON」に

登録されているお客様へ / 85

## 困ったときは / 86

### 故障かな?と思ったら / 86

カメラ本体のトラブル / 86

撮影した画像のトラブル / 88

印刷時のトラブル / 90

エラーメッセージが表示される / 91

## 付録 / 95

### カメラのお手入れについて / 95

カメラが汚れたときは / 95

カメラを保管するときは / 95

### 仕様 / 96

### サービス/サポートのご案内 / 97

カラリオインフォメーション

センター / 97

インターネットサービス / 97

ショールーム / 97

パソコンスクール / 97

保守サービスのご案内 / 97

### 索引 / 99

### クイックリファレンス / 101

静止画撮影の設定 / 101

P.I.F. 撮影 / 102

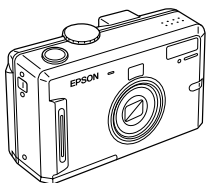
フレーム追加・変更・削除 / 102

再生モード / 103

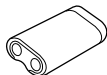
印刷のしかた / 104

## 同梱物の確認

次のものが同梱されていること、それぞれの部品に損傷がないことをお確かめください。万一不都合がございましたら、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。



カメラ本体



リチウム電池パック  
(CR-V3) 1本

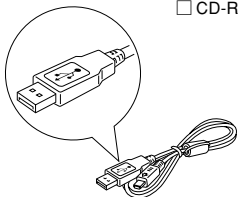


ユーザーズガイド  
(本書)

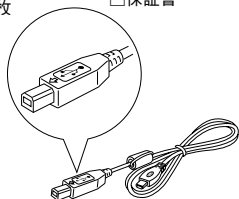


CD-ROM 1枚

お客様情報カード  
保証書



パソコン接続ケーブル  
※USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ  
(P.35) と接続するときにも使  
います。



プリンタ接続ケーブル

※このほかにも各種ご案内などが同梱されている場合があります。

## ■オプション品のご案内

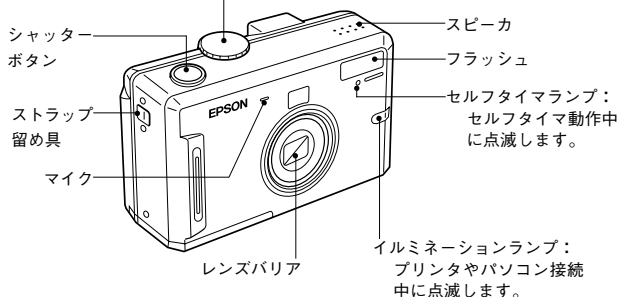
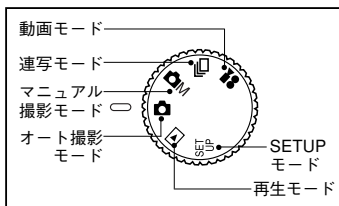


ACアダプタ (Model CPAD3B)

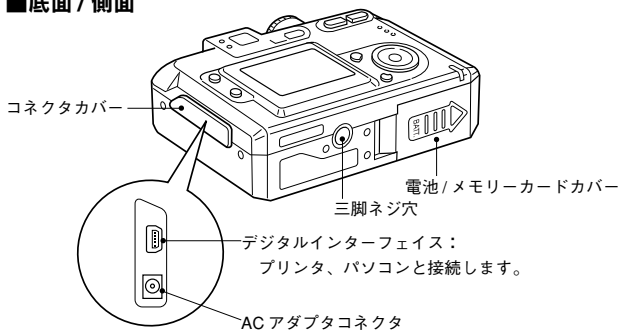
## ■前面

### モードダイヤル：

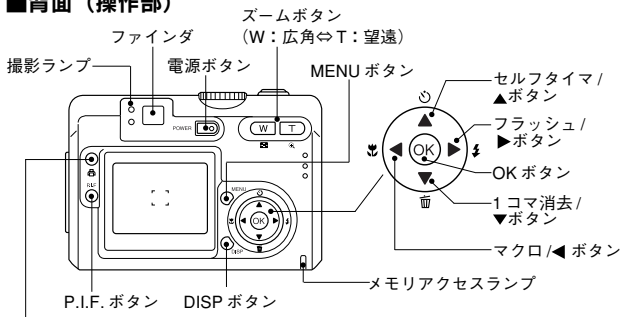
電源を入れたまま切り替えることができます。



## ■底面 / 側面



## ■背面（操作部）



プリントボタン:ダイレクトプリント時に操作します。

## ■ランプの表示

ランプ表示でカメラの状態を確認できます。通常時、ランプは点灯しません。

| ランプの状態      |   |        | カメラの状態  |
|-------------|---|--------|---|
| ランプ名        | 色 | 状態     |   |
| イルミネーションランプ | 青 | ゆっくり点滅 | <ul style="list-style-type: none"> <li>電源投入時</li> <li>パソコン、プリンタとの通信中</li> </ul>   |
| セルフタイマランプ   | 赤 | 点滅     | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフタイマ動作中</li> </ul>   |
| 撮影ランプ（上）    | 緑 | 点灯     | <ul style="list-style-type: none"> <li>ピントが合いました</li> </ul>   |
|             |   | 点滅     | <ul style="list-style-type: none"> <li>節電中</li> <li>動画撮影中</li> <li>画像処理中</li> <li>フラッシュチャージ中</li> <li>手ぶれに注意してください</li> <li>ピント合わせできませんでした</li> </ul> |
| 撮影ランプ（下）    | 赤 | 点滅     | <ul style="list-style-type: none"> <li>電池残量がありません</li> <li>露出測定できませんでした</li> <li>カメラ内のメモリの空き容量が足りません</li> <li>メモリーカード内の空き容量が足りません</li> </ul>          |
| メモリアクセスランプ  | 橙 | 点灯     | <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影データ書き込み中</li> <li>撮影データ読み込み中</li> <li>パソコンとデータ通信中</li> </ul>   |

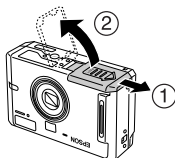
## ■電池 / メモリーカードカバーの開け方

### ！ 注意

カメラの電源が入っていないことを必ず確認してください。

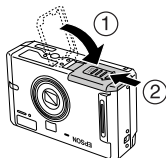
### 開け方

カバーを軽く押さえながら、矢印の方向にスライドさせます。



### 閉じ方

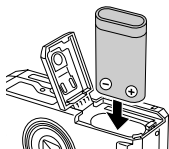
カバーを倒し、押さえながら、矢印の方向にスライドさせて固定します。



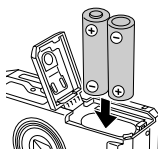
## ■電池のセット

表示を確認し、⊕⊖を間違えないように正しくセットしてください。

### リチウム電池パックの場合



### 単3形電池の場合



### メモ

本機では、以下の電池が使えます。

単3形ニッケル水素電池(Ni-MH)/リチウム電池パック(CR-V3)/単3形アルカリ乾電池(LR6)/単3形ニッケルマンガン電池(ZR6)/単3形ニッケル乾電池(ZR6G)

※ 単3形マンガン乾電池、単3形リチウム電池、単3形ニカド電池は使用できません。

### ！ 注意

- 電池の⊕⊖の向きに注意して正しくセットしてください。向きを間違えると、液漏れや発熱などにより、けがや汚損あるいはカメラが損傷するおそれがあります。
- 単3形電池を使用する場合、電池を交換するときは2本同時に同じ銘柄の新しい電池と交換してください。新旧電池、別の商品の電池、充電した電池と放電した電池を混ぜて使わないでください。

### ！ 注意


- 充電電池は必ず2本同時に充電して使用してください。
- 乾電池は、充電したり再使用することはできません。
- 長期間使用しない場合は電池を本体から外してください。
- 電池寿命は、電池の銘柄、撮影状況や使用環境などにより異なります。



- 使用済み乾電池は、お住まいの市区町村の指示に従って廃棄してください。
- 寿命になった充電式電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

## ■ニッケル水素電池（充電式）使用上のご注意

### ！ 注意

- 電池接片や電池端子が汚れたときは、乾いた布などで拭いてください。カメラの電池接片や電極部分に指紋などの汚れが付着していると、抵抗が大きくなり、撮影枚数が少なくなる場合があります。カメラの電池接片や電池電極部分を乾いた柔らかい布などを利用して拭いてください。
- 充電式電池をお買い上げ後に初めてご利用になるときは、充電と放電を2～3回繰り返してください。また充電式電池を1週間以上使用しなかったときも、再度充電してください。（→不活性化）使用しないので保管されているときでも、自然に放電し容量が徐々に低下致します。この場合は、ご使用前に再度充電を行ってください。尚、気温が30℃以上の場合は、この自己放電が顕著に現れますので、保管場所にもご留意ください。
- 継ぎ足し充電はおやめください。電池を使い切らずに継ぎ足し充電を繰り返すと、みかけ上の電池容量が減っていき、電池の寿命が来ていないのに、短時間しか使用できなくなってしまうことがあります。（→メモリー効果）できるだけ継ぎ足し充電をせずに、完全放電してからフル充電してください。撮影後に電池残量なしの表示（)が出たものでも、再生モードでは電源が入ることがあります。この場合も電池は使い切られていませんので、完全に放電してからフル充電してください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池をカメラから外しておいてください。カメラの電源を切っても微少電流が流れています。電池を長期間入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。

※ 電池消耗が早いときは、不活性化、メモリー効果、または電池の寿命が考えられます。不活性化、メモリー効果の場合、数回充電・放電を繰り返すと改善されます。特に撮影枚数が少ないものは電池容量が少ないと考えられ、充電直後では撮影可能なのに2、3日経つと数枚しか撮れないといった現象が顕著に見られます。電池の寿命の場合は、新品電池に交換してください。

※ ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性がります。

#### <充電・放電のしかた>

1. 電池を充電します。
2. カメラに電池とメモリーカード（撮影済み）を入れます。
3. カメラの電源を入れて、再生モードにしてスライドショーを実行します。
4. そのまま電源が切れるまで放置します。（放電）

この充電・放電の作業を2～3回繰り返します。

\*ただし、ご使用の充電器に放電機能がある場合は、そちらをお使いください。

## ■メモリーカード（別売）のセット

本機は本体に画像書き込み用メモリを内蔵しています。カメラにメモリーカードをセットしなくても撮影できます。枚数を多く撮りたいときなど、メモリ容量を増やしたい場合は、別売のメモリーカードを使用します。

使用できるメモリーカードは、容量512MB以下の次の2種類です。

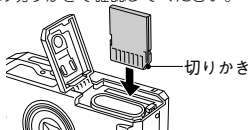
- SDメモリーカード
- マルチメディアカード（MMC）（日立製およびSanDisk製で、MMC規格V2.1以降のもの。）

### ポイント

購入後初めて使用するメモリーカードは、必ず本機で初期化してください。  
（P.66「設定の変更のしかた」、P.68「フォーマット（初期化）について」）

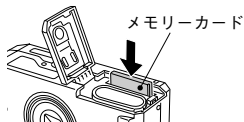
### 入れ方

方向と表裏に注意し、カチッと音がするまで静かに押し込みます。方向と表裏は、カードの切りかきで確認してください。



### 外し方

メモリーカードを矢印の方向に押し込むと、ロックが解除され飛び出します。メモリーカードをつまんで引き出してください。



### メモ

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止機能）について

SDメモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」

方向にスライドさせると書き込み禁止となり、メモリーカード内のデータを保護することができます。

ただし、撮影や初期化ができませんので、撮影時には書き込み禁止を解除してお使いください。

ライトプロ  
テクトノッチ



### 注意

メモリーカードは精密な電子部品で作られています。次のように取り扱ってください。

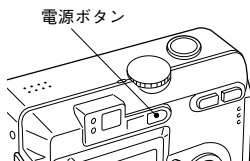
- 端子部に手や金属で触れないようにしてください。
- 取り扱う前に、接地されている金属に手を触れるなどして、必ず身体に帯電している静電気を放電してください。ご利用のメモリーカードによっては、メモリーカードを通して伝わる静電気により、本機が誤動作することがあります。
- 曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- 熱・水分・直射日光を避けて使用・保管してください。
- 分解や改造はしないでください。

# 電源のオンとオフ

## 電源の入れ方 / 切り方

入れ方：電源ボタンを押します。モードダイヤルをオート撮影モード、マニュアル撮影モード、連写モード、動画モードにセットしてあると、レンズバリアが開き、レンズが前へ出ます。

切り方：もう一度電源ボタンを押します。レンズが前へ出ている場合は、レンズが収納され、レンズバリアが閉じます。



### メモ

電源を入れてから、何も操作しない状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。(参照 P.18 「節電状態になったら」、P.66 「設定の変更のしかた」)

## 初めて電源を入れたときは

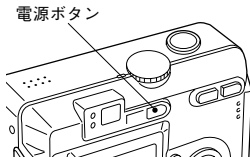
初めてお使いになるときは、「言語設定」・「日時設定」の設定が必要です。次の手順にしたがって設定を行ってください。

### ポイント

「言語設定」・「日時設定」は、初回設定後に設定し直すこともできます。(参照 P.66 「設定の変更のしかた」)

### 1 電源ボタンを押します。

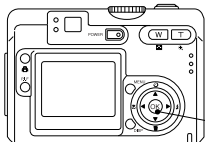
初めて電源を入れると、「言語選択」画面が表示されます。



2

**OK ボタンを押します。**

日本語以外の言語を選びたいときは、  
▲▼◀▶ ボタンを押して言語を選んで  
から OK ボタンを押します。



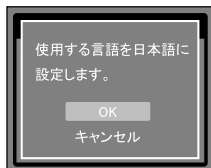
OK ボタン



3

**▲▼ボタンで「OK」を選び、OK ボタンを押します。**

言語を選び直したいときは、「キャンセル」を選び、OK ボタンを押します。「言語選択」画面に戻ります。

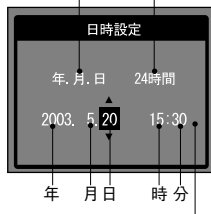


4

**日時を入力し、表示形式を選んで、OK ボタンを押します。**

▲▼ ボタンを押すと設定値 (例: 20 → 21) が変わり、◀▶ ボタンを押すと設定項目 (例: 日→時) が移動します。「年.月.日」は、日付表示を「年.月.日」、「月.日.年」、「日.月.年」から選びます。「24 時間」は、時間表示を「12 時間表示」または「24 時間表示」から選びます。

日付表示形式 時間表示形式






12 時間表示に設定すると、AM/PM が表示されます。

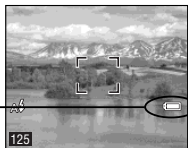
これで初回設定が完了しました。

# 表示を確認する

## 電池は残っていますか

電池の残量は次のように表示されます。

|   |  |
|---|--|
|  | 電池残量が十分残っています。                           |
|  | 電池残量が少なくなっています。                          |
|  | 電池がなくなりました。(同時に赤色の撮影ランプが点滅。)自動的に電源が切れます。 |



## 撮影可能枚数は十分ですか

撮影可能枚数・録画時間秒数は、画面左下に表示されます。

静止画の場合は撮影可能枚数が5枚以下になると、動画の場合は録画中、録画時間が残り5秒以下になると赤色に変わり、メモリが少なくなったことをお知らせします。

125



## ■内蔵メモリについて

本機は本体に画像書き込み用メモリ(16MB)を内蔵しています。カメラにメモリーカードをセットしなくても撮影できます。画像データは、メモリーカードをセットしていないときはカメラ本体のメモリに、メモリーカードをセットしているときはメモリーカードに書き込まれます。

## ■撮影可能枚数

撮影可能枚数は、画質(📷P.50「画質を設定する ----- 画質」)、メモリ容量などによって変わります。

撮影可能枚数の目安

| 画質        | 撮影可能枚数          |        |        |
|-----------|-----------------|--------|--------|
|           | 内蔵(出荷時)<br>16MB | 内蔵16MB | 128MB  |
| ★ N640    | 約71枚            | 約163枚  | 約1303枚 |
| ★ F640    | 約38枚            | 約88枚   | 約710枚  |
| ★★ N1600  | 約13枚            | 約30枚   | 約251枚  |
| ★★ F1600  | 約6枚             | 約15枚   | 約129枚  |
| ★★★ N2304 | 約6枚             | 約14枚   | 約125枚  |
| ★★★ F2304 | 約3枚             | 約7枚    | 約62枚   |

※ 画質のN、Fは、圧縮率(Nはノーマル、Fはファイン)を示しています。  
※ 出荷時とは、35枚のフレームデータが内蔵メモリに記録されている、お買上げ時の状態です。  
※ メモリにフレームデータを記録している場合は、撮影可能枚数は左記よりも少なくなります。

# 基本的な使い方

## 手順早分かり

撮影から再生、印刷までの手順の流れは次の通りです。この流れに沿って、本章と次の章で基本的な使い方を説明していきます。実際にカメラを操作しながら、使い方をマスターしましょう。

### 撮 影

- ① 電源を入れる (👉 P.18)
- ② 撮影モードを選ぶ (👉 P.19)  
→ 4つの撮影モードがあります。  
本章では、静止画の撮影を説明します。
- ③ モニタ表示のしかたを選ぶ (👉 P.20)
- ④ カメラを構える (👉 P.21)
- ⑤ シャッターを切る (👉 P.22)  
→ ピントを合わせて、シャッターボタンを押します。  
→ 必要に応じて、撮影前にズーム (👉 P.25)・マクロ (👉 P.26)・フラッシュ (👉 P.26)・セルフタイマ (👉 P.28) の設定をします。
- ⑥ フレームを付けて撮影する (👉 P.29)  
→ フレーム付き画像の撮影のしかたを覚えましょう。



表示を確認する・手順早分かり

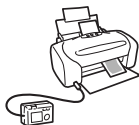
### 再 生

- ① 再生モードにする (👉 P.31)  
→ どのように撮れたか、画像を確認します。
- ② 画像を1枚ずつ消去する (👉 P.33)  
→ 不要な画像を消去します。



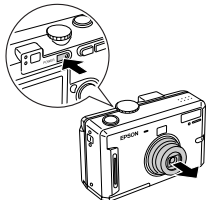
### 印 刷

- ① プリンタと接続する (👉 P.36)
- ② 印刷のしかたを指定する (👉 P.37)  
→ 4種類の印刷方法があります。
- ③ 印刷を開始する (👉 P.44)



## 電源を入れる

- 1 電源ボタンを押します。**  
レンズバリアが開き、レンズが前へ出ます。  
液晶モニタが表示されます。電池残量アイコンは約2秒後に消えます。



### メモ

- モードダイヤルが再生モードまたはSETUPモードにセットされているときは、レンズは出ません。この場合、電源が入った状態で撮影モードに切り替えたとき、レンズが出ます。
- レンズは一旦前に出ると、電源が切れるまで収納されません。

### 注意

- 動いているレンズを無理に手で止めたり、異物をはさんだりしないでください。電源を入れる際は、レンズの前に障害物がないことを確認してください。
- レンズが前に出た状態で持ち運ぶと、ぶついたりして故障の原因となります。持ち運びの際は必ず電源を切ってください。

## ■ 節電状態になったら

何も操作しない状態が一定時間続くと自動的に電源が切れ、電池の無駄な消費を防ぎます。

設定時間（初期値は3分）の間に何も操作しないと液晶モニタが消灯し、節電モードになります。節電モード中は緑の撮影ランプがゆっくり点滅します。さらにそのまま10分経つと電源が切れます。

節電モードから復帰するには、シャッターボタン、モードダイヤル、背面のいずれかのボタンを操作してください。

ACアダプタ（別売）使用時は、何も操作しない時間が20分経過すると電源が切れます。

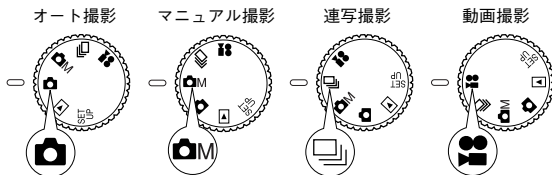
### メモ

- 節電モードに入るまでの時間は、1分、3分、5分、20分から選択できます。（[P.66](#)「設定の変更のしかた」）
- スライドショーの再生中は、節電モードは機能しません。

## モードを選ぶ

### 1 モードダイヤルを回します。

左の○マークに、選びたい撮影モードのマークを合わせます。



#### メモ

- モードダイヤルを回してモードを選んでから、電源を入れてもかまいません。
- 撮影モード、再生モード、SETUPモードの切り替えはいつでもできます。画像処理中もモードダイヤルを切り替えることができますが、モードは画像処理後に切り替わります。

## ■ 撮影モードについて

本機には、4つの撮影モードがあります。

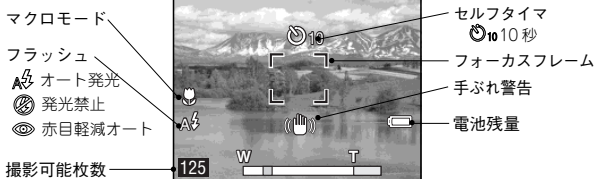
|        |                                |   |
|--------|--------------------------------|---|
| 静止画モード | オート撮影モード                       | 撮影の際の設定項目が少なく、デジタルカメラの操作に慣れていない方でも簡単に撮影できます。初めてお使いになられる方や細かい設定はカメラに任せたい方は、このモードでの撮影をお勧めします。 |
|        | マニュアル撮影モード                     | 撮影の際に役立ついくつかの機能があり、細かい設定ができ、撮影をより楽しむことができます。  |
|        | 連写モード                          | シャッターを押している間、連続的に撮影ができます。マニュアル撮影モードと同様に、撮影の際の細かい設定ができます。                                    |
| 動画モード  | 音声付きの動画を撮影できます。(P.53「動画を撮影する」) |   |

## モニタ表示のしかたを選ぶ

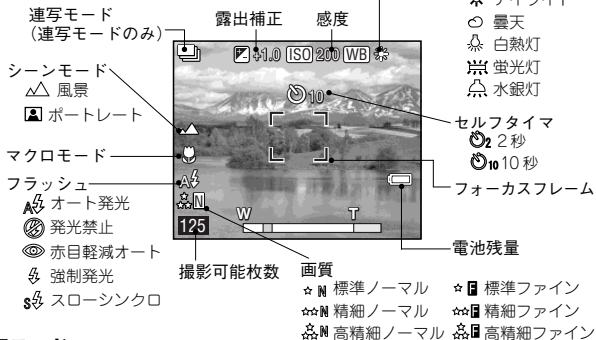
### ■液晶モニタ表示

モニタに表示されるアイコンで撮影設定を確認できます。アイコンの表示のしかたは撮影モードによって異なります。(説明のため、すべてのアイコンを表示しています。)

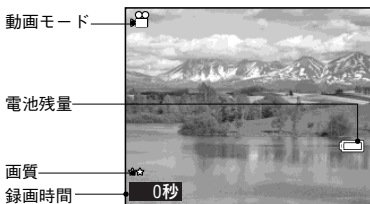
#### オート撮影モード



#### マニュアル撮影モード/連写モード



#### 動画モード



メモ

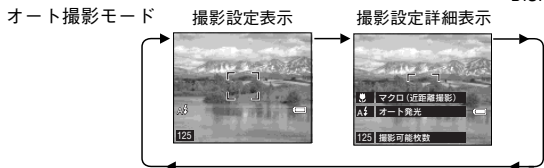
設定により、表示されるアイコンは異なります。

## ■モニタ表示を切り替える

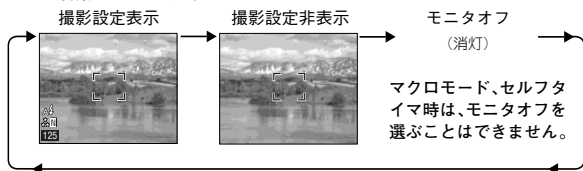
- 1 **DISP ボタンを押します。**  
 押すたびに、液晶モニタの表示は循環式に変わります。



DISP ボタン



マニュアル撮影モード/連写モード



撮影する

## カメラを正しく構える

撮影するとき、ぶれないようにカメラを固定することが、きれいに写すポイントです。



### ポイント

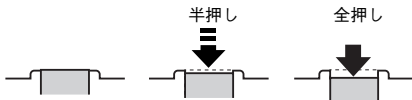
レンズやフラッシュを、指で隠さないように構えてください。

下記の場合は、液晶モニタを使って撮影します。

|            |   |
|------------|---|
| デジタルズーム使用時 | ファインダは、光学ズームには連動しますが、デジタルズームには対応しません。                             |
| マクロ撮影時     | カメラと被写体の距離が近づくほど、ファインダで見える範囲と実際に写る範囲にずれが出てきます。マクロ撮影ではこの差が大きくなります。 |

## シャッターを切る（静止画）

構図が決まったら、シャッターを切ります。シャッターボタンは、半押しと全押しの2段階で押します。半押しすると、ピントと露出を自動的に決定します。そのまま全押しすると、決定したピントと露出で撮影されます。



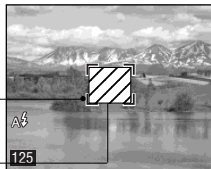
1

### 構図を決めます。

液晶モニターを使うときは、ピントを合わせたい被写体を、液晶モニター中央のフォーカスエリアに合わせます。

フォーカスフレーム

フォーカスエリア



### ポイント

ピントを合わせたい被写体がフォーカスエリアにないときは、ピントを合わせてからシャッターボタンを半押ししたままの状態（フォーカスロックをして）構図を調整してください。

ただし、カメラを前後に動かすと、ピントが合わなくなりますので注意してください。

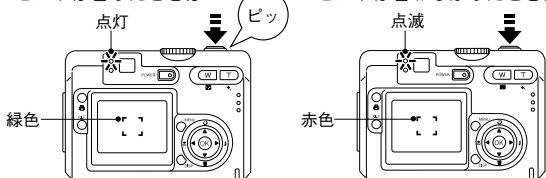
2

**シャッターボタンを半押しします。**

ピントが合ったかどうかは、緑の撮影ランプ、フォーカスフレームで確認できます。

ピントが合ったときは

ピントが合わなかったときは



ピントが合わないときは、一旦指を離し、もう一度半押ししてください。

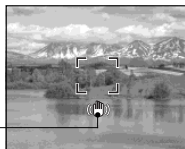
**ポイント**

- シャッターボタンの半押しで、次の情報がフォーカスフレームの下に表示されます。

**オート撮影モード**

フラッシュ発光禁止時に、シャッター速度が広角で1/30秒以下、望遠で1/60秒以下に遅くなると、手ぶれ警告アイコンが表示されます。手ぶれに注意してください。

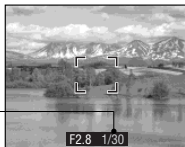
手ぶれ警告アイコン

**マニュアル撮影モード/連写モード**

絞り値/シャッター速度が表示されます。

シャッター速度が1/30秒以下に遅くなると、赤色で表示されます。手ぶれに注意してください。

1/30秒以下の場合  
は、赤色で表示



- 次のような条件では、ピントが合わないことがあります。
  - コントラストのない被写体
  - ブラインドのように縦線のない被写体
  - 極端に明るい部分がある被写体

また、次のような条件では、緑の撮影ランプが点灯するなどしてピントが合ったことをカメラが示しても、実際にはピントが合っていない場合があります。

- 遠いものと近いものが共存する被写体

このような場合は、被写体と同じ距離にある別のものにフォーカスロック (P.22) した後、構図を調整して撮影してください。

縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、横位置に戻して撮影することもできます。

## 3

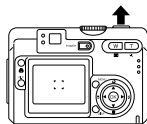
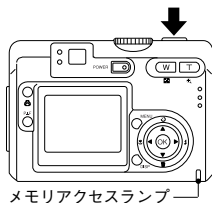
## 半押しの状態から、シャッターボタンを押し込みます。

## 1コマ撮影のときは

シャッター音が鳴り、シャッターが切れます。

## 連写撮影のときは

シャッター音が鳴り、シャッターボタンを押している間、連続的にシャッターが切れます。撮影するたびに短時間、画像を表示します。シャッターボタンから指を離すと撮影は停止します。



メモリアクセスランプが点灯し、画像がメモリに書き込まれます。メモリアクセスランプが消えたら、次の撮影ができます。



## ポイント

- シャッターボタンを半押しした状態でカメラを前後に動かすと、ピントが合わなくなります。一旦指を離し、再度半押しして、ピントを合わせ直してください。
- 通常モードでは、カメラから被写体までの距離が50cm以上のときにピントが合います。50cmより近づいて撮影するときは、マクロモードを使います。(参照 P.26 「近くのを撮影する (接写する)」)

## 連写モードのときは

- 一度のシャッター操作で撮影される画像は、すべて同じピントと露出 (最初の半押しで決定されたピントと露出) で撮影されます。
- 一度のシャッター操作でメモリいっぱいまで撮影できますが、最大枚数は撮影条件により変わります。(参照 P.16 「撮影可能枚数」)

## メモ

- クイックビューを設定すると、撮影の直後、撮影した画像を約3秒間見ることが出来ます。連写モードは、クイックビューの設定に関わらず、撮影するたびに短時間画像が表示されます。(参照 P.52 「クイックビュー / 音声メモ」)
- 音声メモを設定すると、撮影の直後、最長30秒の音声を録音し、画像に添付することができます。(参照 P.52 「クイックビュー / 音声メモ」)
- シャッター音を変えることができます。(参照 P.70 「動作音を変更する」)

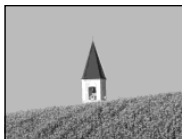
## 拡大して撮影する

本機は、3倍の光学ズームレンズと3倍のデジタルズームを搭載しています。液晶モニター撮影時はデジタルズームが使用できるので、最大9倍ズーム相当の撮影ができます。

※焦点距離は 35mm フィルムカメラに換算して表記しています。



34mm



102mm



306mm

1 **ズームボタン** **[W]** **[T]** を押して、大きさを調整します。

ズームバーが表示されます。

ズームバーの表示：

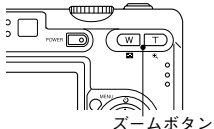


3倍光学ズーム

3倍デジタルズーム (2倍、3倍)

**[T]** を押すと望遠 (被写体を大きく撮影)、**[W]** を押すと広角 (広い範囲を撮影) に変わります。

デジタルズームにするには、光学ズームを望遠側最大にしてから、**[T]** を再度押します。押した回数で2倍、3倍となります。光学ズームに戻るには、**[W]** を押します。



ズームボタン

## ! 注意

- デジタルズームは、ご購入時は使用できないように設定されています。デジタルズームを使用する場合は、SETUPモードでデジタルズームをオンに設定してください。(P.66「設定の変更のしかた」)
- モニター表示をオフしているときは、デジタルズームは使用できません。
- デジタルズームは、光学ズームで得られた画像の一部を電子的に拡大します。そのため、画質が粗くなります。
- 2304、2304、1600、1600画質での撮影時は、デジタルズームにすると、光学ズーム使用時より撮影可能枚数が増えます。

## メモ

次の場合、光学/デジタルズームは解除されます。

- モードダイヤルを操作したとき
- モニター表示を切り替えたとき
- 節電モードになったとき
- 電源を切ったとき
- マクロモードにしたとき

## 近くのを撮影する（接写する）

近くのを撮影するときや被写体に近づいて撮影したいときは、マクロモードにします。レンズ先端から11～50cmまでの接写ができます。

1

### ☺(◀) ボタンを押します。

液晶モニタに☺マクロアイコンが表示されます。

液晶モニタ表示をオフにしている場合

☺(◀) ボタンを2回押してください。1回目で撮影設定表示に切り替わり、2回目で☺マクロアイコンが表示されます。

マクロアイコン



### ポイント

マクロモードでは、ズーム機能は使えません。

## ■マクロモードを解除するには

もう一度☺(◀) ボタンを押すか、電源を切ると解除されます。

## フラッシュを使う

ご購入時は、自動発光に設定されています。暗いところで撮影するとき、自動的にフラッシュが発光します。撮影後、撮影ランプ（緑）が点滅しているときは充電中です。点灯を待って撮影してください。

### メモ

- 連写モードで発光設定にすると、撮影のたびにフラッシュの充電が必要になるため、連写速度が遅くなります。
- フラッシュに手を触れないでください。汚れが付き、適正な発光量を得られなくなる場合があります。

## ■フラッシュの届く範囲

感度の設定により、次のように変わります。（P.51「ISO感度を固定する—感度」）

| 感度 (ISO)       | W (広角) 側 | T (望遠) 側 |
|----------------|----------|----------|
| ISO 100 (標準感度) | 0.7～2.6m | 0.5～1.5m |
| ISO 200 (中感度)  | 1.0～3.7m | 0.6～2.1m |
| ISO 400 (高感度)  | 1.4～5.2m | 0.8～3.0m |

## ■フラッシュの設定と切り替え

### 1 (▶) ボタンを押します。

押すたびに、次のように設定が切り替わります。

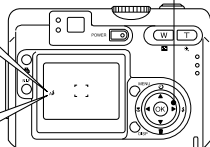
オート撮影モード



マニュアル撮影モード/連写モード



(▶) ボタン



液晶モニタ表示をオフにしている場合

(▶) ボタンを2回押してください。1回目で撮影設定表示に切り替わり、2回目でフラッシュアイコンが表示されます。約2秒後にモニタオフに戻ります。

#### メモ

- 連写モード、動画モードに切り替えると、発光禁止モードに切り替わります。
- シーンモードを設定すると、各シーンモードのフラッシュ設定に切り替わります。

| 表示            | 機能  |
|---------------|---|
| A オート発光       | 暗いときに自動的に発光します。明るいところでは発光しません。通常の撮影全般で使います。                   |
| 発光禁止          | 常に発光しません。結婚式、ステージなど屋内の照明を生かした撮影や、美術館などフラッシュが使えないところでの撮影に使います。 |
| 赤目軽減<br>オート   | 撮影用の発光の前に予備発光し、目が赤く写ることを和らげます。人物撮影に使います。                      |
| 強制発光          | 強制的に発光します。極端な逆光での撮影に使います。                                     |
| s スロー<br>シンクロ | 暗いときに自動的に発光します。シャッター速度を最長1秒まで遅くして、暗い被写体も撮影できます。               |

#### メモ

- 発光禁止に設定すると、シャッター速度が最長1/2秒まで遅くなります。手ぶれに注意してください。
- スローシンクロモードとは、長時間露光(スローシャッター)中にフラッシュを同調(シンクロ)させる機能です。通常、暗いところでフラッシュを使うと背景が暗くなります。スローシンクロモードでは、撮影のはじめにフラッシュを発光し手前の被写体をその被写体の適正露光で捉え、さらに露光時間を延長しフラッシュの届かない背景も明るく捉えて撮影します。手ぶれを防ぐため三脚の使用をお勧めします。動く被写体はぶれて写ります。

## セルフタイマを使う

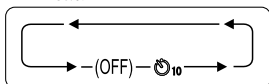
シャッターボタンを押してから約2秒経過後または約10秒経過後に、シャッターが切れます。カメラは、三脚や水平な台の上などにしっかりと固定しておいてください。

1

### ☺(▲) ボタンを押します。

押すたびに、次のように設定が切り替わります。

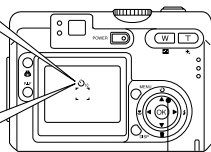
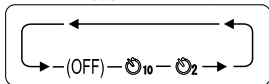
オート撮影モード



☺<sub>10</sub>: 約10秒後にシャッターが切れます。

☺<sub>2</sub>: 約2秒後にシャッターが切れます。

マニュアル撮影モード/連写モード



☺(▲) ボタン

液晶モニター表示をオフにしている場合

☺(▲) ボタンを2回押してください。1回目で撮影設定表示に切り替わり、2回目で☺セルフタイマアイコンが表示されます。

液晶モニター表示を撮影設定詳細表示にしている場合

☺(▲) ボタンを押すと撮影設定表示に切り替わります。

2

### シャッターボタンを押して撮影します。

(P.22 「シャッターを切る (静止画)」)

液晶モニターの中央に、シャッターが切れるまでの秒数がカウントダウンしながら表示されます。

★撮影を中止する場合は、MENU ボタンを押します。シャッターボタンを押す前の状態に戻ります。



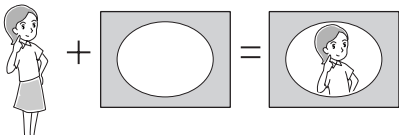
### ポイント

- セルフタイマは1回撮影すると自動的に「OFF」に戻ります。
- 連写モードの場合は、1コマのみの撮影となります。

## ■ PRINT Image Framer について

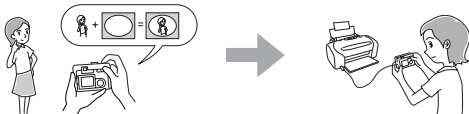
PRINT Image Framer（プリントイメージフレーマー、以降P.I.F.）は、撮影した画像とフレームを合成する機能です。

また、合成された画像はカメラからプリンタへ直接「ダイレクトプリント」で印刷できます。



## ■ フレーム付き画像の印刷

フレーム付きの画像は、ダイレクトプリントで簡単にプリントできます。



## フレーム付きで撮影する（P.I.F. 撮影）

P.I.F. 撮影では、撮影時にフレームを組み合わせるので、被写体に合わせてフレームを選ぶことができます。

### メモ

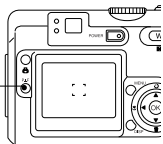
- ご購入時、カメラ本体に35個のフレームデータが登録されていますが、最大約50個（フレームデータ容量により増減します）まで登録できます。メモリーカードには最大999個まで登録できます。
- 付属のCD-ROMには、ご購入時、カメラ本体に登録されているフレームデータが収納されています（Windows：[LAYOUTS]フォルダ、Macintosh：[P.I.F. レイアウト集]フォルダ）。また、エプソンのホームページ「<http://www.i-love-epson.co.jp>」から入手することができます。EPSON PRINT Image Framer Tool（プリンタに同梱のCDに収録）を使って、パソコンからカメラやメモリーカードにコピーしてご利用ください。（[P.64](#)「フレームデータを管理する」）

1

### P.I.F. ボタンを押します。

フレーム選択画面が表示されます。

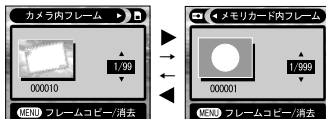
P.I.F. ボタン



2

◀▶ボタンを押して、フレームが登録されているメモリを選びます。

カメラまたはメモリーカードを選びます。



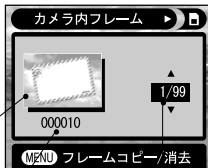
3

▲▼ボタンを押して、フレームを選びます。

押し続けると早送りできます。

★ フレームの選択を中止する場合は、P.I.F.ボタンを押します。撮影モードに戻ります。

フレームサンプル



フレーム名 登録番号 / 登録総数

4

OKボタンを押して、フレームを決定します。

液晶モニタにフレームが表示されます。

5

表示されているフレームに合わせて撮影します。



6

撮影が終了したら、P.I.F.ボタンを押します。

P.I.F.モードが終了し、通常の撮影モードになります。

メモ

- 撮影後にフレームを変更したり、フレームなしにしたり、フレームなし画像にフレームを付けたりすることもできます。(P.32「フレームを付ける/なしにする」)
- ダイレクトプリント以外で印刷すると、フレームなし画像として印刷されます。
- P.I.F.撮影し、印刷予約 (DPOF) (P.62「印刷予約 (DPOF)」) されたデータをメモリーカードに入れてPM-860Pなどのカードスロット付プリンタで印刷すると、メモリーカードに入っているフレームのひとつが合成されて印刷されることがあります。その場合は、プリンタのパネル設定で解除してください。

## 再生モードにする

再生モードでは、◀▶▲▼ボタンとズームボタンを使い、1枚ずつの再生や拡大表示、6枚ずつの一覧表示で画像を見ることができます。フレーム付きの画像はフレームが付いた状態で再生されます。



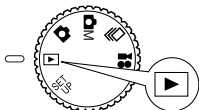
### ポイント

メモリーカードがセットされている場合はメモリーカードの画像を表示し、セットされていない場合はカメラ本体のメモリの画像を表示します。

1

### モードダイヤルを回して、再生モードにします。

直前に撮影した画像が、1コマ表示で再生されます。



2

### ズームボタン(W/T)を押すと、表示のしかたを変えられます。

表示位置  
DISP ボタンで表示/非表示を切り替えることができます。

6コマ表示

撮影日時  
画像番号 / 総画像数  
カーソル

1コマ表示

拡大表示

表示位置

DISP ボタンで表示/非表示を切り替えることができます。

6コマ表示時は、

- ◀ボタンで1枚前の画像
- ▶ボタンで 次の画像
- ▲ボタンで上の画像
- ▼ボタンで下の画像

にカーソルが動いて、選択されている画像を示します。押し続けると、早送りします。

1コマ表示時は、

- ◀ボタンで1枚前の画像
- ▶ボタンで次の画像に送ります。

↑ ↓

W T

↑ ↓

W T

↑ ↓

W T



↑ ↓

W T

撮影した画像をカメラで見る

## 画像に表示されるアイコン

動画、音声メモ付き画像の場合は、画像の右上にアイコンが表示されます。再生のしかたはP.55「動画・音声メモを再生する」を参照してください。

|   |          |
|---|----------|
|  | 動画       |
|  | 音声メモ付き画像 |

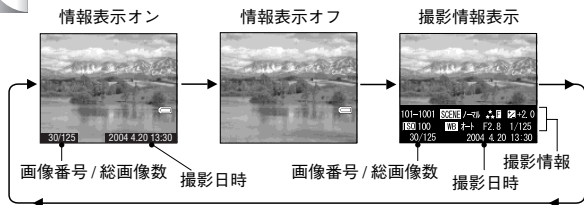


## ■情報表示を切り替える

1コマ表示時は、情報表示を切り替えることができます。

### 1 DISP ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、液晶モニタの表示は循環式に変わります。



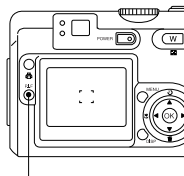
## フレームを付ける / なしにする

再生モードで、フレームなしの画像にフレームを付けたり、フレーム付き画像のフレームを変更したり、フレームなしにすることができます。

### 1 変更したい画像を表示し、P.I.F. ボタンを押します。

6コマ表示の場合は、変更したい画像にカーソルを合わせます。

フレーム選択画面が表示されます。



P.I.F. ボタン

2

**フレームを選びます。**

P.30「フレーム付きで撮影する」の手順  
2から4と同様に操作します。

**■フレームなしにするには**

フレーム選択画面で、登録番号「-」を選び、OK  
ボタンを押します。

「フレームなし」と  
表示されます。

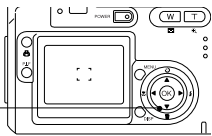
**画像を1枚ずつ消去する**

画像の消去は、再生モードで行います。ここでは1枚ずつ（または動画を1つずつ）  
消去するしかたを説明します。何枚かまとめて消去することもできます。（P.58  
「連続画像消去」、「全画像消去」、P.59「連写グループ消去」）

1

**消去したい画像を1コマ表示で再生し、 (▼) ボタンを押します。**

 (▼) ボタン



2

**▲▼ボタンを押して「実行」を選びます。**

消去を中止する場合は、「キャンセル」を  
選びます。



3

**OK ボタンを押します。**

画像が消去され、次の画像が表示されます。

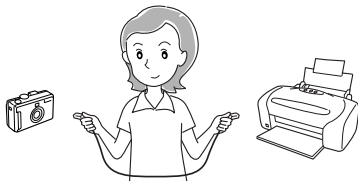
 メモ

一度消去した画像は復元できません。

# 画像の印刷

## ダイレクトプリント

本機は、パソコンを使わず直接プリンタに接続し、写真を印刷できます。操作も簡単、プリンタ接続、写真の選択、印刷の3段階できれいな写真が仕上がります。



### ■いろいろな印刷ができます

用紙サイズは2種類あります (☞ P.35「ダイレクトプリントで使用できる用紙」)

L判サイズ (89 × 127mm)

はがきサイズ (100 × 148mm)

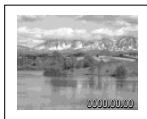
フチ・日付のあり/なしが選べます (☞ P.43「印刷設定を設定する」)

フチあり  
日付あり

フチあり  
日付なし

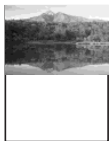
フチなし  
日付あり

フチなし  
日付なし



4種類の割付印刷ができます (☞ P.38、P.41「アルバム印刷」)

半面割付



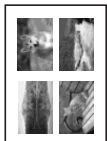
2面割付



3面割付



4面割付



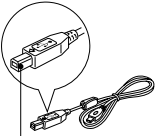
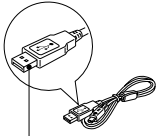
好きな写真を選んで割り付けできます。

アルバム印刷では、日付は印刷されません。

## 対応プリンタ

エプソン製のPHOTO PC DIRECT 対応プリンタ・USB DIRECT-PRINT 対応プリンタで、ダイレクトプリントを行うことができます。プリンタの機種・使用するケーブルは以下の通りです。

(2004年3月現在)

| PHOTO PC DIRECT 対応プリンタ |  | USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ        |   |
|------------------------|--|--------------------------------|---|
| 機種名                    | 使用ケーブル   | 機種名                            | 使用ケーブル  |
| PM-G700                | プリンタ接続ケーブル<br><br>プリンタ用コネクタ | PM-860PT<br>PM-D750<br>PM-A850 | パソコン接続ケーブル<br><br>パソコン用コネクタをプリンタに接続します。コネクタには表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。 |

ダイレクトプリント

## ダイレクトプリントで使用できる用紙

ダイレクトプリント時に使用できる用紙の種類は、以下の通りです。

|       | 用紙名                 | 特長                                       | 入り数 | 型番       | 備考 |
|-------|---------------------|--|-----|----------|----|
| 【L判】  | 写真用紙<br>＜光沢＞        | 長期間色あせにくい高品質写真用紙。艶やかに仕上がり、まさに写真として楽しめます。 | 20  | KL20PSK  | ※1 |
|       |                     |  | 50  | KL50PSK  | ※1 |
|       |                     |  | 100 | KL100PSK | ※1 |
|       | 写真用紙<br>＜絹目調＞       | 長期間色あせにくく、光沢感をおさえた高品質の写真用紙です。            | 20  | KL20MSH  | ※1 |
| 100   | KL100MSH            |  | ※1  |          |    |
| 【ハガキ】 | 写真用紙<br>＜絹目調＞ハガキ    | 長期間色あせにくく、光沢感をおさえた高品質のハガキです。             | 20  | KH20MSH  | ※2 |
|       | 官製ハガキ<br>(インクジェット紙) | インクジェットプリンタでの印刷に対応した、官製ハガキです。            | —   | —        | ※3 |

※1 カメラ上での用紙種類設定では、「L判/写真用紙」を指定してください。

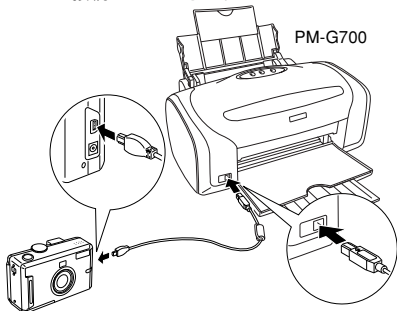
※2 カメラ上での用紙種類設定では、「ハガキ/写真用紙」を指定してください。

※3 カメラ上での用紙種類設定では、「官製ハガキ/インクジェット紙」を指定してください。

# プリンタと接続する

カメラとプリンタに電源が入っていないことを確認してから、接続してください。

- 1** 付属のプリンタ接続ケーブルで、カメラとプリンタを接続します。  
奥までしっかり差し込んでください。  
USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ (P.35) 使用時は、パソコン接続ケーブルで接続してください。



## メモ

- 小さいコネクタがカメラ側です。また、コネクタには表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。
- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

## 2

カメラとプリンタの電源を入れます。



## ポイント

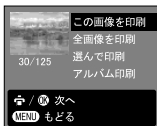
- 多数の画像を印刷するときは、電池残量が十分あることを確認してください。電池残量が少ないと印刷途中で停止してしまいます。別売の AC アダプタ (Model CPAD3B) を使用すると便利です。
- ダイレクトプリントの設定・印刷中は、節電モードに入りません。

印刷する画像を選んだり、レイアウトや用紙の種類や大きさを指定するなど、印刷のための設定をします。印刷設定は、再生モードで行います。

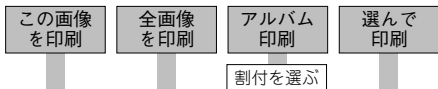
## ■印刷設定について

印刷設定の流れは、次の通りです。印刷方法によって設定項目数が異なります。

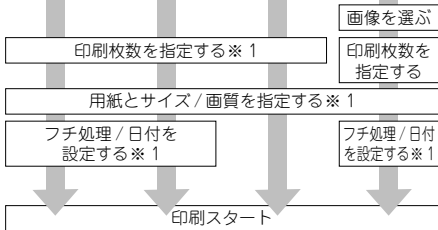
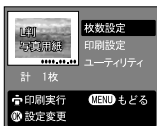
### ① ダイレクトプリントモードにする



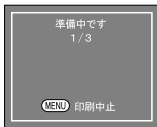
印刷方法を選びます。



### ② 各設定を指定する



### ③ 印刷スタート



※1 指定をしなくても印刷できます。その場合、印刷枚数は1枚(全画像を印刷は各1枚)、印刷設定は初期設定値(☞P.43「印刷設定を設定する」)または前回設定した設定値となります。再生モードで表示している画像を1枚印刷する場合は、 プリントボタンを3回押すと印刷できます。

プリンタと接続する・印刷の設定をする

## メモ

### モニタ表示 / 操作ボタンについて

- モニタの下部に、ボタンの操作説明が表示されます。
- 画像選択、印刷枚数指定は、▲▼◀▶ボタンで行います。このとき、ボタンを押し続けると、早送りすることができます。
- 操作の途中で設定を中止したいときは、MENUボタンを押します。新しい設定はキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。



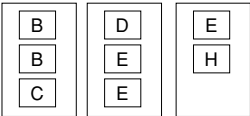
印刷時にフレームを外すには

MENUボタンを押して、一旦再生モード画面に戻ってからフレームを外します。  
(☞P.32「フレームを付ける/なしにする」)



## 印刷方法を選ぶ

4種類の印刷方法があります。

|         |   |
|---------|---|
| この画像を印刷 | 再生モードで表示していた画像を印刷します。   |
| 全画像を印刷  | すべての画像を指定した枚数ずつ印刷します。   |
| 選んで印刷   | 印刷したい画像のみを、それぞれ指定した枚数ずつ印刷します。   |
| アルバム印刷  | <p>1枚の印刷用紙に指定した割付面分の画像を割り付けて、指定した枚数分印刷します。再生モードで表示していた画像から撮影順に1画像ずつ割り付けられます。</p> <p>例<br/>撮影順 </p> <p>↑ここを再生モードで表示して、3面割付で2枚印刷と指定した場合が2枚印刷されます。</p> <p>※再生モードで表示していた画像より後に撮影した画像の数が、割付面数より少ない場合は、足りない割付面は印刷されません。</p> <p>ダイレクトプリントモードに進む前に、印刷予約 (DPOF) で画像に枚数を設定すると、印刷したい画像を指定した画像数分割り付けて印刷することができます。ただし、この場合は印刷枚数は指定できません。</p> <p>例<br/>次の印刷予約を設定して、3面割付を指定した場合<br/>撮影順 </p> <p>予約枚数 0 2 1 1 3 0 0 1</p> <p>と印刷されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレームは印刷できません。フレーム付き画像はフレームなしで印刷されます。</li> <li>・日付あり印刷はできません。</li> </ul> <p>USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ (LBP-35) 使用時は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4面割付はできません。</li> <li>・メモリの空き容量が5KB以上ないと、アルバム印刷はできません。</li> </ul> |

印刷予約 (DPOF) の枚数設定を利用して「選んで印刷」、「アルバム印刷」を行う場合は、印刷予約 (DPOF) を設定しておきます。(P.63)

**1 モードダイヤルを回し、再生モードにします。**

次の印刷を行う場合は、ここで印刷する画像を選び液晶モニタに表示しておきます。

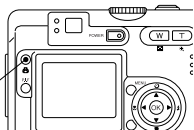
- 「この画像を印刷」
- 印刷予約 (DPOF) の枚数設定を利用しない「アルバム印刷」



**2 凸プリントボタンを押します。**

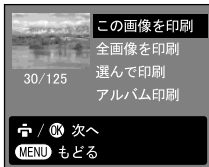
ダイレクトプリントモードになり、印刷方法選択画面が表示されます。

プリントボタン



**3 ▲▼ボタンを押して印刷方法を選び、凸プリントボタンまたはOKボタンを押します。**

「アルバム印刷」を選んだ場合は、この画面で割付を選びます。凸プリントボタンまたはOKボタンを押す前に、P.41「アルバム印刷」に進んでください。



印刷の設定をする

次に、印刷枚数を設定します。操作は印刷のしかたによって異なります。それぞれ P.39 で示すページに進んでください。

「この画像を印刷」 / 「全画像を印刷」 P.39

「選んで印刷」 P.40

## 印刷枚数や画像を設定する

**メモ**

印刷枚数は、1 画像につき 99 枚まで指定でき、999 画像まで設定可能です。ただし、印刷総枚数は 9999 枚までです。

### ■この画像を印刷 / 全画像を印刷

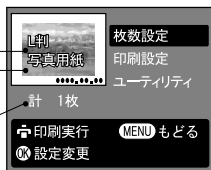
印刷方法を選ぶ (P.39) と、印刷プレビュー画面が表示されます。「枚数設定」で印刷枚数を指定します。

## 印刷プレビュー画面の見方

印刷仕上がり見本  
「全画像を印刷」の場合は、  
プレビュー画像は表示され  
ません。

用紙サイズ  
用紙種類

印刷総枚数



1

### OK ボタンを押します。

印刷方法選択画面から印刷プレビュー画面に進んだときは、「枚数設定」が選ばれています。OKボタンを押すと、枚数設定画面が表示されます。

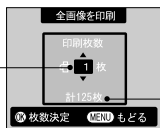
2

### ▲▼ボタンを押して枚数を入力します。

「この画像を印刷」の枚数設定画面 「全画像を印刷」の枚数設定画面



印刷枚数



印刷総枚数  
(全画像数×  
印刷枚数)

3

### OK ボタンを押し、枚数を決定します。

印刷プレビュー画面に戻ります。

次に、P.43「印刷設定を設定する」に進んでください。

## ■選んで印刷

印刷方法を選ぶ(P.39)と、画像選択画面が表示されます。ここで画像と印刷枚数を指定します。

1

### ◀▶ボタンを押して画像を選び、▲▼ボタンを押して枚数を入力します。

◀▶ズームボタンを押すと、1コマ表示/6コマ表示を切り替えることができます。

選んでいる画像の印刷枚数

この画像に  
指定した印  
刷枚数

印刷総枚数

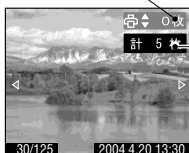


T

→

←

W



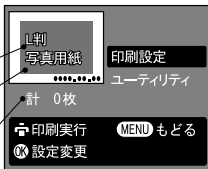
印刷総枚数

2 OKボタンまたは印刷ボタンを押し、枚数を決定します。

印刷プレビュー画面が表示されます。

印刷プレビュー画面の見方

用紙サイズ  
用紙種類  
印刷仕上がり見本  
プレビュー画像は表示  
されません。  
印刷総枚数

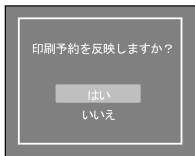


次に、P.43「印刷設定を設定する」に進んでください。

メモ

画像に印刷予約 (DPOF) (P.62) で枚数を設定している場合は、印刷方法選択画面で「選んで印刷」を選ぶと「印刷予約を反映しますか?」とメッセージが出ます。

印刷予約での枚数設定を利用する場合は「はい」を選びます。印刷プレビュー画面が表示されます。枚数を改めて設定する場合は「いいえ」を選びます。画像選択画面が表示されます。



印刷の設定をする

■アルバム印刷

アルバム印刷の場合は、印刷方法選択画面 (P.39 手順3) で割り付けのしかたを選んでから印刷プレビュー画面に進み、印刷枚数を選びます。

USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ (P.35) 使用時は、

- ・ 4面割付はできません。
- ・ メモリの空き容量が5KB以上が必要です。足りないとアルバム印刷はできません。

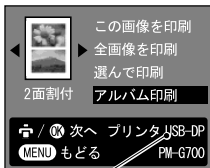
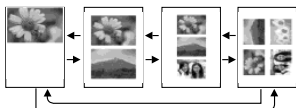
メモ

- ・ 日付あり印刷はできません。
- ・ フレームは印刷できません。フレーム付き画像はフレームなしで印刷されます。

1 ◀ ▶ ボタンを押して割付を選びます。

押すたびに、割付サンプルが循環式に変わります。

半面割付 2面割付 3面割付 4面割付



「USB-DP」は、USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ (P.35) を示しています。

2

☐ **プリントボタンまたはOKボタンを押します。**

**印刷予約を設定していない場合**

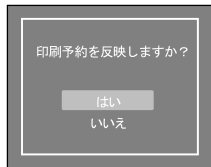
印刷プレビュー画面が表示されます。

**印刷予約を設定している場合**

右のメッセージ画面が表示されます。

▲▼ボタンを押して、印刷予約での枚数設定を利用する場合は「はい」を、利用しない場合は「いいえ」を選んで、OKボタンを選びます。

印刷プレビュー画面が表示されます。

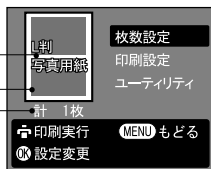


印刷プレビュー画面の見方

印刷仕上がり見本  
プレビュー画像は表示されません。

用紙サイズ  
用紙種類

印刷総枚数



3

**OKボタンを押します。**

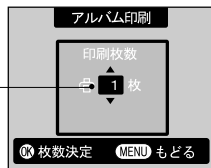
印刷プレビュー画面に進んだときは、「枚数設定」が選ばれています。OKボタンを押すと、枚数設定画面が表示されます。

印刷予約での枚数設定を利用する場合は、枚数設定は選ぶことができません。1枚ずつ印刷されます。

4

**▲▼ボタンを押して枚数を入力します。**

印刷枚数



5

**OKボタンを押して枚数を決定します。**

印刷プレビュー画面に戻ります。

## 印刷設定を設定する

設定は4項目あります。**太字**はご購入時の設定値です。印刷設定は、設定を変更するまで現在の設定値が保持されます。

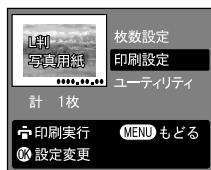
|               |             |   |             |   |                  |
|---------------|-------------|---|-------------|---|------------------|
| 用紙サイズ<br>用紙種類 | L判<br>写真用紙  | ／ | ハガキ<br>写真用紙 | ／ | 官製ハガキ<br>インクジェット |
| フチ処理          | フチあり / フチなし |   |             |   |                  |
| 日付            | 日付あり / 日付なし |   |             |   |                  |
| 画質            | はやい / きれい   |   |             |   |                  |

## メモ

フレーム付き画像と「アルバム印刷」は、日付あり印刷はできません。

設定のしかたは、どの設定項目も同じです。ここでは「フチ処理をフチありに変更する」を例にして説明します。

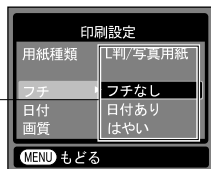
- 1 印刷プレビュー画面で、▲▼ボタンを押して「印刷設定」を選び、OKボタンを押します。  
「印刷設定」画面に進みます。



印刷の設定をする

- 2 ▲▼ボタンを押して変更したい項目（「フチ」）を選び、OKボタンを押します。  
設定値が表示されます。

現在の設定内容



- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい内容（「フチあり」）を選び、OKボタンを押します。  
印刷プレビュー画面に戻ります。

これで印刷の設定が完了しました。




## メモ

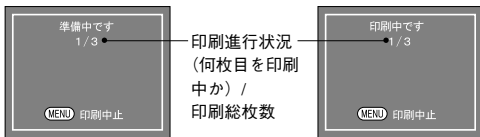
印刷プレビュー画面で「ユーティリティ」を選ぶと、インク残量などプリンタのチェックができます。必要に応じて、印刷前にチェックをしてください。  
(P.45「プリンタ用ユーティリティ」)

# 印刷する

印刷条件（どの画像を、どのように、どの用紙に、何枚印刷するか）をすべて設定できたら、印刷します。プリンタに設定した用紙をセットしてください。

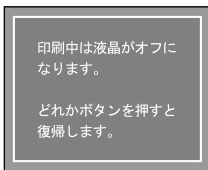
**1** 印刷プレビュー画面で、 **プリントボタン**を押します。

**2** 印刷準備を開始し、準備が終了すると印刷を開始します。

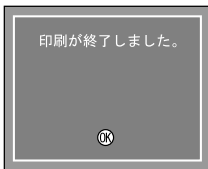


印刷準備中・印刷中は、一定時間を過ぎると右の画面が表示され、約5秒後に液晶モニタは消灯します。どれかボタンを押すと、復帰します。

★インクや用紙がなくなったなど不具合が生じた場合は、液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。メッセージに従って対応してください。

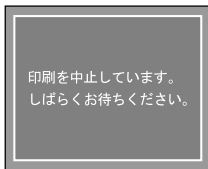


**3** 印刷が終了すると、右の画面が表示されます。OKボタンを押してください。再生モード画面に戻ります。



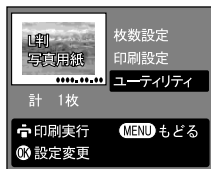
これで印刷が完了しました。

■印刷準備中・印刷中に印刷を中止するには液晶モニタが表示されている状態で、MENUボタンを押します。右の画面が表示されます。印刷中止処理終了後、印刷プレビュー画面に戻ります。



プリンタのノズルチェックやヘッドクリーニングなどをカメラから行うことができます。USB DIRECT-PRINT対応プリンタ (P.35) 使用時は、本機能をご利用になれません。

- 印刷プレビュー画面を表示します。  
▲▼ボタンを押して「ユーティリティ」を選び、OKボタンを押します。  
印刷プレビュー画面は、P.39の手順1から3の操作を行い表示します。印刷方法はどれを選んでもかまいません。



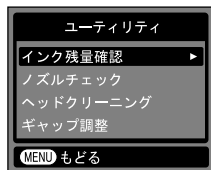
- ▲▼ボタンで目的のユーティリティ名を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押します。

**インク残量確認**：プリンタのインク残量を確認できます。(P.45)

**ノズルチェック**：ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりを確認します。(P.46)

**ヘッドクリーニング**：プリントヘッドをクリーニングします。(P.46)

**ギャップ調整**：双方向印刷の印刷位置のスレを補正します。(P.47)

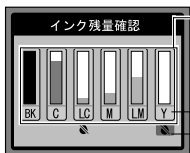




以降の操作は、それぞれ 上記の P で示すページに進んでください。  
各機能の詳細については、プリンタの取扱説明書をお読みください。

## インク残量確認

「ユーティリティ」画面で「インク残量確認」を選ぶ (P.45)と、次の画面が表示されます。

- インク残量を確認します。



- 残量を示します。
- インクの色を示します。
- アイコンの意味は次の通りです。  
 : インクが残りわずかです。  
 : インクを交換してください。

- 確認が終わったら、OKボタンまたはMENUボタンを押します。  
「ユーティリティ」画面に戻ります。

## ノズルチェック

「ユーティリティ」画面で「ノズルチェック」を選ぶ（P.45）と、次の画面が表示されます。

- 1 **A4の普通紙をプリンタにセットし、▲▼ボタンで「実行」を選び、OKボタンを押します。**

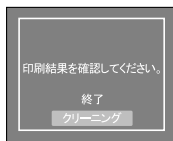
ノズルチェックパターンを印刷します。



- 2 **ノズルチェックパターンを確認します。**  
パターンの見方は、プリンタの取扱説明書を参照してください。

- 3 **ヘッドクリーニングを行う場合は、OKボタンを押します。**

次項の「ヘッドクリーニング」の手順に進みます。操作を終了する場合は、▲▼ボタンで「終了」を選びOKボタンを押すか、MENUボタンを押します。「ユーティリティ」画面に戻ります。



## ヘッドクリーニング

「ユーティリティ」画面で「ヘッドクリーニング」を選ぶ（P.45）と、次の画面が表示されます。

- 1 **▲▼ボタンで「実行」を選び、OKボタンを押します。**

ヘッドクリーニングが始まります。

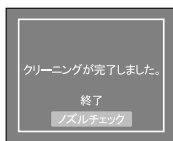
- ★ ヘッドクリーニングは約1分かかります。
- ★ ヘッドクリーニングを行うとインクが消耗します。



- 2 **クリーニングが完了すると、右の画面が表示されます。**

ノズルチェックを行う場合は、OKボタンを押します。

前項の「ノズルチェック」の手順に進みます。操作を終了する場合は、▲▼ボタンで「終了」を選びOKボタンを押すか、MENUボタンを押します。「ユーティリティ」画面に戻ります。

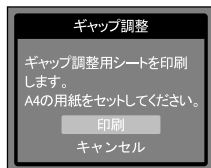


## ギャップ調整

「ユーティリティ」画面で「ギャップ調整」を選ぶ (P.45)と、次の画面が表示されます。

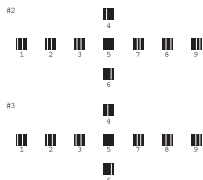
- 1** A4の普通紙をプリンタにセットし、▲▼ボタンで「印刷」を選び、OKボタンを押します。

ギャップ調整用シートを印刷します。

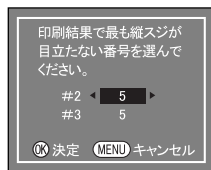


- 2** 印刷されたシートを見て、最も縦スジが目立たないパターン番号を選びます。

右のサンプルの場合は、#2、#3とも「5」を選びます。



- 3** ▲▼ボタンで#2、#3を選び、◀▶ボタンでそれぞれ手順2で選んだ番号を入力します。



- 4** OKボタンを押します。「ユーティリティ」画面に戻ります。

最も縦スジが目立たないパターンを1つにしぼれない場合は、候補のどれか1つを選びその番号を入力します。OKボタンを押して、「ユーティリティ」画面に戻ったら、もう一度「ギャップ調整」を選び、手順1から4の操作を行ってください。最も縦スジが目立たないパターンを1つにしぼれるまで、繰り返してください。


# その他の機能

## 設定を変更して撮影する

マニュアル撮影モード、連写モードは、ご購入時の設定のままでも撮影はできますが、撮影メニューで撮影のための細かい設定ができます。“カメラにお任せ”から“ワンランク上”の撮影が楽しめます。

### ■撮影メニューでできること

次の撮影設定ができます。太字はご購入時の設定値です。

| 設定項目  | 目的  | 記憶 |
|---|---|----|
|   | 設定値   |    |
| シーンモード<br>(  P.50)         | 撮影対象に合ったモードを選ぶだけで、最適な画像になるように撮影条件が設定されています。                                     | ○  |
|   | <b>ノーマルモード</b> / 風景モード / ポートレートモード  |    |
| 画質<br>(  P.50)             | 画像の品質を設定します。画質によって画像ファイルサイズの大きさが変わるので、撮影可能枚数の増減ができます。                           | ○  |
|   | <b>★★★ F2304 / ★★★ N2304 /</b><br><b>★★ F1600 / ★★★ N1600 / ★ F640 / ★ N640</b> |    |
| 露出補正<br>(  P.51)           | 明るさを変えて撮影できます。  | ×  |
|   | +2.0 / +1.5 / +1.0 / +0.5 / <b>0</b> / -0.5 / -1.0 / -1.5 / -2.0                |    |
| 感度<br>(  P.51)             | 感度を上げると、より暗い所で、速いシャッタースピードで撮影ができ、手ぶれを防ぐことができます。                                 | ○  |
|   | <b>オート</b> / 100 / 200 / 400  |    |
| ホワイト<br>バランス<br>(  P.51) | 光源の色が変わっても、色合いを調整(白いものを白く写す)します。  | ×  |
|   | <b>オート</b> / デイライト / 曇天 / 白熱灯 / 蛍光灯 / 水銀灯                                       |    |



### ポイント

#### 電源を切った後の設定値

撮影設定は、電源を切った後も設定が保持されるものと、ご購入時の設定に戻るものがあります。上記の表の「記憶」欄は、次の内容を示しています。

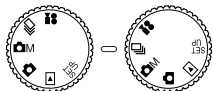
○：設定を変えるまで、現在の設定を保持します。

×：電源を切ると、ご購入時の設定に戻ります。

## 撮影メニューの設定のしかた

撮影メニューの設定のしかたを説明します。どの設定項目も、操作のしかたは同じです。ここでは「画質を★N640にする」を例にして説明します。

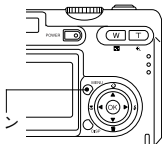
- 1 **メニューダイヤルを回して、マニュアル撮影モード、または連写モードにします。**



- 2 **MENU ボタンを押します。**  
「撮影メニュー」画面が表示されます。

★ オート撮影モードではMENUボタンを押してもメニューは表示されません。

MENU ボタン



- 3 **▲▼ボタンを押し設定項目(「画質」)を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押します。**

★ MENU ボタンを押すと、撮影モード画面に戻ります。

現在の設定内容



- 4 **▲▼ボタンを押し設定値(「★N640」)を選び、OKボタンを押します。**

「撮影メニュー」画面に戻ります。

★ MENU ボタンまたは◀ボタンを押すと、新しい設定を取り消して「撮影メニュー」画面に戻ります。



- 5 **MENU ボタンを押します。**  
撮影モード画面に戻ります。

設定状態は、液晶モニタのアイコンで確認できます。(P.20「液晶モニタ表示」)

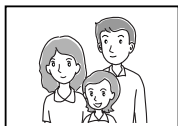
## 被写体に合った撮影条件にする ----- シーンモード

撮影対象に合ったモードを選ぶだけで最適な画像になるように、撮影条件が設定されています。「ノーマルモード」・「風景モード」・「ポートレートモード」から選びます。  
設定のしかたは、P.49「撮影メニューの設定のしかた」を参照してください。



### ノーマルモード

一般撮影に適したモードです。カメラまかせて簡単に撮影できます。



### 風景モード

遠くの風景がはっきり写るよう設定されており、フラッシュは発光禁止に設定されます。



### ポートレートモード

人物撮影（ポートレート）に適したモードです。

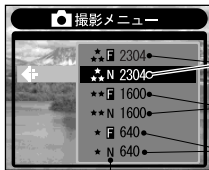


#### メモ

- シーンモードを設定すると、フラッシュは各シーンモードの設定に変更されますが、 ボタンで変更することもできます。
- マクロモードにすると、シーンモードは解除されます。

## 画質を設定する ----- 画質

画質が高いほどきれいな写真に仕上がりますが、画像ファイルサイズが大きくなるので、撮影枚数は少なくなります。画質を抑えると、メモリにたくさんの画像を保存できます。  
設定のしかたは、P.49「撮影メニューの設定のしかた」を参照してください。



画像サイズ  
(ピクセル)

2304 × 1728

1600 × 1200

640 × 480

画質

高い

低い

ファイル  
サイズ

大

小

圧縮率 F: ファイン N: ノーマル

## 画像の明るさを補正する ----- 露出補正

露出は撮影時に自動的にセットされますが、+2.0～-2.0の間で0.5段刻みで補正できます。被写体が周囲より明るいときは一側に、暗いときは十側に補正すると、効果的に撮影できます。

設定のしかたは、P.49「撮影メニューの設定のしかた」を参照してください。



暗いとき



明るいとき

## ISO感度を固定する ----- 感度

感度を高くするほど、速いシャッタースピードで撮影ができます。また、より暗い場所での撮影が可能になります。ただし、画像のノイズが増えます。

設定のしかたは、P.49「撮影メニューの設定のしかた」を参照してください。

自動調節  
低感度

高感度

## 色合いを調節する ----- ホワイトバランス

ホワイトバランスとは、光源が変わっても、白いものを白く写すデジタルカメラ特有の機能です。光源に合わせて選びます。

設定のしかたは、P.49「撮影メニューの設定のしかた」を参照してください。



**オート:** 撮影状況に合わせてホワイトバランスが自動設定されます。

**デイライト:** 太陽光に合わせてあります。晴天の屋外で撮影するときに設定します。

**曇天:** 曇りのときに青みがかって写るのを防止します。

**白熱灯:** 白熱灯下での撮影時に赤みがかって写るのを防止します。

**蛍光灯:** 蛍光灯下での撮影時に緑がかって写るのを防止します。

**水銀灯:** 水銀灯下での撮影時に緑がかって写るのを防止します。

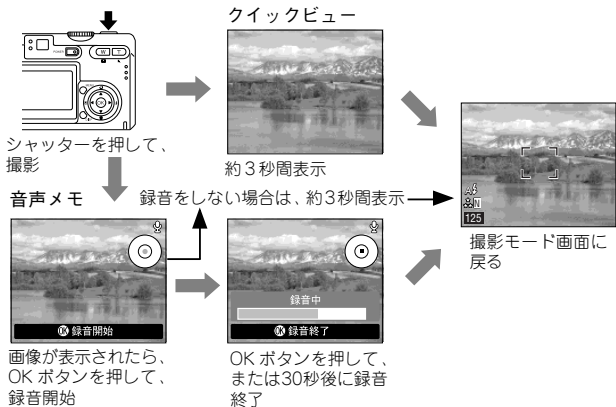
### メモ

ホワイトバランスを利用して効果的な写真にすることもできます。

- 照明の雰囲気を出したいときは「デイライト」にすると、キャンドルや白熱電灯などの暖かみを再現した写真になります。
- 風景のさわやかさを強調したいときは「白熱灯」にします。
- 夕陽の赤さを強調したいときは「デイライト」にします。

## クイックビュー / 音声メモ

クイックビューとは、撮影直後に、画像を約3秒間液晶モニタに表示する機能です。どのように撮影されたか、すぐに確認できます。さらに音声メモ機能をプラスすると、最大30秒の音声を添付することができます。この場合、画像は録音を終了するまで表示されます。設定のしかたは、P.66「設定の変更のしかた」を参照してください。



### メモ

- シャッターボタンを半押しするとクイックビュー表示が消えます。すぐ撮影に入れます。
- 連写モードでは、クイックビューの設定に関わらず、撮影するたびに短時間、画像を表示します。音声メモは最後の1コマに添付されます。
- 液晶モニタをオフにしていると、クイックビューは表示されません。
- 音声メモを設定して録音を開始しない場合は、クイックビューと同様に約3秒後に撮影モード画面に戻ります。

### 音声メモの再生

再生モードで画像の右上に アイコンが表示されたら、その画像に音声メモが添付されています。音声メモを再生するには、OKボタンを押します。(参照P.55「動画・音声メモを再生する」)

### メモ

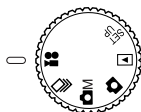
音声メモは、消去したり、録音し直したりできます。(参照P.61「音声メモの消去/録音」)

## 動画の撮影

動画モードに設定すると、音声付きの動画を撮影できます。動画モードでは、画質は3品質から選ぶことができます。

### 1 モードダイヤルを回し、動画モードにします。

動画モード画面が表示されます。



### 2 MENU ボタンを押します。

「動画メニュー」画面が表示されます。

### 3 「画質」を設定します。

OK ボタンまたは▶ボタンを押します。

現在の設定内容



次の画面で、▲▼ボタンで設定値を選び、OK ボタンを押します。

画質

| 高い ←—————▶ 低い     |                   |                   |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| ★★★ 640 × 480     | ★★ 320 × 240      | ★ 160 × 120       |
| 640 × 480<br>ピクセル | 320 × 240<br>ピクセル | 160 × 120<br>ピクセル |



### ポイント


- 画質は、設定を変えるまで、現在の設定を保持します。
- 画像ファイルサイズは、高画質になるほど大きくなります。(P.54 「動画録画秒数の目安」)

便利な機能・動画を撮影する



4

**シャッターボタンを全押しします。**

撮影が開始されます。

音声も録音されます。レンズ左上のマイク（P.9「各部の名称」）をふさがないようにしてください。

**注意**

- 動画撮影中は、ピントが固定されます。
- 光学ズームは使用できますが、撮影途中での変更はできません。
- デジタルズームは使用できません。（P.25「拡大して撮影する」）
- メモリの空き容量が少ない場合は、撮影できないことがあります。（P.91「エラーメッセージが表示される」）



撮影中は、録画秒数をカウントアップ表示  
撮影可能秒数が残り5秒になると、赤字で表示

5

**もう一度、シャッターを全押しします。**

撮影が終了します。

動画の再生はP.55「動画・音声メモを再生する」、消去はP.33「画像を1枚ずつ消去する」、P.58「連続画像消去」、「全画像消去」を参照してください。



**動画録画秒数の目安**

| 画質      | サイズ<br>(ピクセル) | 最大動画記録秒数         |        |       |
|---------|---------------|------------------|--------|-------|
|         |               | 内蔵 (出荷時)<br>16MB | 内蔵16MB | 256MB |
| 標準 ★    | 160 × 120     | 約8秒              | 約8秒    | 約796秒 |
| 精細 ★★   | 320 × 240     | 約3秒              | 約3秒    | 約406秒 |
| 高精細 ★★★ | 640 × 480     | 約2秒              | 約2秒    | 約102秒 |

※マルチメディアカードやデータ書き込み速度の遅いメモリーカードでは、最大記録秒数まで記録できないことがあります。

※メモリにフレームデータを記録している場合は、動画録画秒数は上記よりも少なくなります。

## 動画・音声メモを再生する

再生モードで画像の右上にアイコンが表示されたら、その画像は動画（）、音声メモが添付されている画像（）です。

1

モードダイヤルを回し、再生モードにします。

2

▲▼◀▶ ボタンを押して、動画または音声メモ付き画像を選びます。



1コマ表示の場合、動画は青い枠で囲まれています。



音声メモアイコン 動画アイコン

3

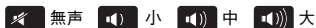
OK ボタンを押します。

再生が始まります。

再生中は、次の操作ができます。

▲▼ボタン：音量を調節します。

ボタンを押すと次のアイコンが表示され、音量の状態を示します。



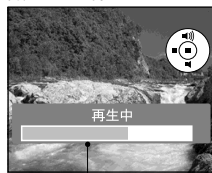
OK ボタン：一時停止します。

再開するときはOK ボタンを押します。

◀ ボタン：再生を終了します。

再生の途中で終了できます。

音声メモの再生



再生時間の経過を表示

動画の再生



4

再生が終了すると、手順2の画面に戻ります。

 メモ

音声メモは、消去したり、録音し直したりできます。(P.61「音声メモの消去/録音」)

## 再生メニューの機能

再生メニューで、画像データの消去やコピー、自動再生などができます。Digital Print Order Format (DPOF) による印刷予約も再生メニューで行います。

| メニュー | 設定項目       | 目的                                 | 参照   |
|------|------------|------------------------------------|------|
| 1    | 画像連続消去     | 1コマずつ画像を確認しながら、連続して画像データを消去できます。   | P.58 |
|      | 全画像消去      | メモリ内のすべての画像データを消去できます。             | P.58 |
|      | 連写グループ消去   | 連写されたグループ内の画像データをすべて、または選んで消去できます。 | P.59 |
|      | スライドショー    | メモリ内のすべてのデータを撮影順に連続して自動再生します。      | P.60 |
|      | 音声メモ       | 静止画に音声メモを添付したり、消去したりできます。          | P.61 |
|      | 画像のコピー     | カメラ本体メモリの全画像データを、メモリーカードにコピーできます。  | P.62 |
| 2    | 印刷予約(DPOF) | 印刷予約ができます。                         | P.62 |



### ポイント

再生メニューでは、メモリーカードがセットされている場合はメモリーカードの画像、セットされていない場合はカメラ本体のメモリの画像の消去、再生などを行います。

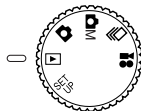
## 再生メニューの設定のしかた

再生メニューの設定のしかたを説明します。再生メニューを表示してから、設定項目を選びます。設定値の指定（または動作の実行）のしかたは各項目によって異なります。

1

### モードダイヤルを回し、再生モードにします。

「連写グループ消去」「音声メモ」を設定する場合は、ここで対象となる画像を選び表示しておきます。



2

### MENU ボタンを押します。

「再生メニュー 1」画面が表示されます。

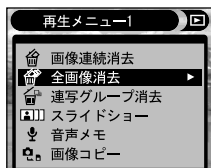
3

◀▶ボタンを押して、設定する項目のあるメニュー画面を選びます。  
再生メニューは、2画面あります。



4

▲▼ボタンを押して設定項目を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押します。

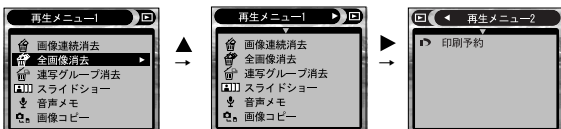


5

設定値（または動作）を指定します。

操作のしかたは、P.56の参照欄の示すページを参照してください。  
設定値を指定すると、「再生メニュー」画面に戻ります。続けて別の設定項目を選ぶことができます。

「再生メニュー」画面を切り替える場合は、▲ボタンを押して一旦現在のメニュー画面名を選んでから、◀▶ボタンを押します。



6

設定が終わったら、MENUボタンを押します。

再生モード画面が表示されるので、MENUボタンを押します。

メモ

途中で操作を中止する場合は、MENUボタンを押します。押すごとに一つ前の画面に戻ります。

## 連続画像消去

1コマずつ画像を確認しながら、連続して画像データ(動画も含む)を消去できます。

1

「再生メニュー1」画面で、「連続画像消去」を選びます。  
P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。

2

◀▶ボタンを押して、消去する画面を選びます。



3

▲▼ボタンを押して「実行」を選び、OKボタンを押します。  
画像が消去されます。

4

必要に応じて、手順2、3を繰り返し画像を消去します。  
全画像が消去されると、「画像がありません」と表示されます。

## 全画像消去

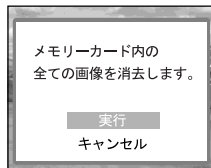
メモリ内のすべての画像データを消去できます。

1

「再生メニュー1」画面で、「全画像消去」を選びます。  
P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。

2

▲▼ボタンを押して「実行」を選び、  
OKボタンを押します。  
画像が消去され、「画像がありません」  
と表示されます。






メモ


「全画像消去」を実行しても、メモリに登録されているフレームのデータは消去されません。



## 連写グループ消去

1回のシャッター操作で連写した何枚かの画像をまとめて連写グループと呼びます。「連写グループ消去」を選ぶと、再生モード画面で表示されていた画像を含む連写グループのみが表示されます。

アイコンが表示されている画像データを消去します。再生メニューから進んだときは、すべての画像にアイコンが付いていますので、消去しない画像のアイコンを消して消去する画像を選びます。

- 1 「再生メニュー 1」画面で、「連写グループ消去」を選びます。  
P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。  
再生モード画面で、連写画像を表示してから「再生メニュー」画面に進んでください。

- 2 ◀▶ボタンを押して画像を確認しながら、▲▼を押して消去しない画面のアイコンを消します。

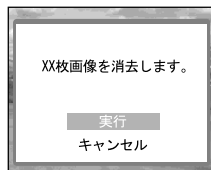
▲▼ボタンを1回押すごとに、アイコンの表示/非表示が切り替わります。  
1グループすべての画像を消去する場合は、アイコンを消さずに次の手順に進みます。



- 3 消去する画像が決まったら、OK ボタンを押します。

- 4 ▲▼ボタンを押して「実行」を選び、OK ボタンを押します。

画像が消去されると、「再生メニュー 1」画面に戻ります。  
連写画像がなくなると、「連写グループ消去」はグレー表示になり選ぶことができなくなります。



## ■画像の消去について

### メモ

- 一度消去した画像は復元できません。
- 他社製のカメラで撮影した画像は消去できません。

## スライドショー

メモリ内の画像を自動的に連続再生します。

1

「再生メニュー1」画面で、「スライドショー」を選びます。

P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。

2

OK ボタンを押します。

スライドショーが始まります。  
再生中は、次の操作ができます。

OK ボタン：一時停止します。

再開するときは、OK ボタンを押します。

▶ ボタン：次の画像へスキップします。

DISP ボタン：アイコンを非表示にします。



3

再生を終了するときは、◀ ボタンを押します。

「再生メニュー1」画面に戻ります。



### ポイント

スライドショーは、静止画も動画もすべての画像が、再生モード画面で表示されていた画像から撮影順に繰り返し再生されます。静止画1コマの表示時間は、約3秒間です。

### メモ

スライドショーの再生中は、節電モードは機能しません。

## 音声メモの消去 / 録音

画像に添付された音声メモを消去したり、新しく音声メモを録音できます。

1

「再生メニュー 1」画面で、「音声メモ」を選びます。

P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。  
再生モード画面で、音声メモを編集する画像を表示してから「再生メニュー」画面に進んでください。

2

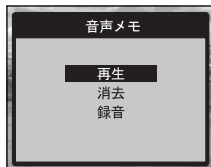
▲▼ボタンを押して項目を選びます。

再生：音声メモを再生します。

消去：音声メモを消去します。

録音：音声メモを録音します。

再生モード画面で、音声メモなし画像を表示していた場合は、「再生」「消去」はグレー表示になり選ぶことができません。



3

OK ボタンを押します。

### 再生の場合

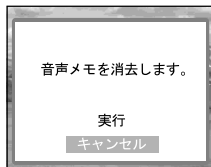
再生が始まります。

P.55「動画・音声メモを再生する」の手順2を参照してください。

### 消去の場合

右の画面が表示されます。

▲▼ボタンを押して「実行」を選び、  
OK ボタンを押します。



### 録音の場合

録音が始まります。

再生モード画面で、音声メモ付き画像を選んでいた場合は、上書きしてもいいか、確認画面が表示されます。  
30秒間録音するか、もう一度OK ボタンを押すと、録音は終了します。



4

音声メモ画面に戻ります。

★ MENU ボタンを押すと、「再生メニュー1」画面に戻ります。

## 画像コピー

カメラ本体のメモリの全画像データをメモリーカードにコピーします。メモリーカードをセットしておいてください。

 メモ

ライトプロテクトされているSDメモリーカードへは画像をコピーできません。プロテクトを解除してから、メモリーカードをセットしてください。

1

「再生メニュー1」画面で、「画像コピー」を選びます。

P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順1～4の操作をします。

2

右の画面が表示されます。

▲▼ボタンを押して「実行」を選び、OKボタンを押します。

コピーを開始します。

終了すると、「再生メニュー1」画面に戻ります。

カメラ内の全画像をメモリーカードへコピーします。

実行

キャンセル

## 印刷予約 (DPOF)

印刷予約 (DPOF) は Digital Print Order Format の略称で、画像をプリントするための情報 (プリントしたい画像とその枚数の指定など) をメモリーカードに記録する規格です。

DPOF 情報を用意しておけば、プリント店へメモリーカードを持ち込む際に、店頭での面倒な枚数指定が不要になります。また、DPOF ファイルに対応しているプリンタやソフトでも利用でき、印刷時の指定が簡単になります。

本機では、液晶モニターで画像を確認しながら DPOF に対応したプリントアウト指定ファイルを作成できます。

## ■印刷予約 (DPOF) の設定のしかた

- 1 「再生メニュー 2」画面で、「印刷予約」を選びます。  
P.56「再生メニューの設定のしかた」の手順 1～4 の操作をします。

- 2 画像を選んで、印刷枚数を指定します。  
操作のしかたは、P.40の「選んで印刷」の手順 1 を参照してください。

### メモ

印刷予約 (DPOF) では、1 画像につき 99 枚まで指定でき、999 画像まで設定可能です。ただし、印刷枚数は 9999 枚までです。



- 3 設定ができれば、OK ボタンを押します。  
DPOF 情報が保存され、「再生メニュー 2」画面に戻ります。

### メモ

印刷予約 (DPOF) を作成し、メモリーカードを DPOF ファイルに対応したプリンタにセットすると、指定した画像を簡単に印刷することができます。

# フレームデータを管理する

フレームデータをコピー／削除します。動画モード以外のすべてのモードで行うことができます。

## メモ

フレームデータは、カメラ本体には最大約50個（フレームデータ容量により増減します）まで、メモリーカードには最大999個まで登録（コピー）できます。

## フレームデータをコピー／削除する

どのモードも操作のしかたは同じです。

**1** フレーム選択画面で、コピーまたは削除するフレームを選びます。  
P.29「フレーム付きで撮影する（P.I.F.撮影）」の手順1～3の操作をします。

**2** MENU ボタンを押します。

**3** ▲▼ボタンを押して項目を選びます。  
★操作を中止する場合は、「もどる」を選びOKボタンを押すか、MENUボタンを押します。フレーム選択画面に戻ります。

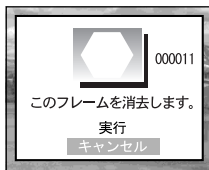


**4** OK ボタンを押します。  
コピーの場合  
コピーを開始します。

### 消去の場合

▲▼ボタンを押して「実行」を選び、OKボタンを押します。  
フレームデータが消去されます。

コピー／消去が完了すると、手順1の画面に戻ります。続けて、別のフレームデータのコピー／消去ができます。



**5** 作業を終了するときには、P.I.F. ボタンを押します。

# カメラの設定

## SETUPモード

SETUPモードでカメラの機能設定を変更できます。動作音の変更、メモリの初期化なども、このモードで行います。

### SETUPモードでできること

SETUPモードでは、以下の機能が設定できます。

| 画面           | 設定項目                 | 目的  | 初期状態                             | 参照               |
|--------------|----------------------|---|----------------------------------|------------------|
| セットアップ1      | クイックビュー/<br>音声メモ     | 撮影直後、画像を3秒間表示/非表示、音声メモを録音する/しないを設定します。  | OFF                              | P.52<br>P.67     |
|              | 液晶明るさ                | 液晶モニタの明るさを調整します。  | —                                | P.67             |
|              | デジタルズーム              | デジタルズームのON/OFFを設定します。   | OFF                              | P.67             |
|              | 節電設定                 | 節電モードに入るまでの時間を設定します。  | 3分                               | P.68             |
|              | 起動画面設定               | 電源を入れたときに表示される画像を設定します。   | ロゴ                               | P.68<br>P.69     |
| セットアップ2      | フォーマット               | メモリーカードやカメラ本体のメモリを初期化します。   | —                                | P.67<br>P.68     |
|              | 設定リセット※1             | カメラ本体の設定を初期状態に戻します。   | —                                | P.67             |
|              | 日時設定                 | 日時、表示形式を設定します。  | —                                | P.67             |
|              | 連番リセット               | メモリーカードをフォーマットまたは入れ替えた際、ファイル名「EPSNnnnn.xxx」に付けられる番号部分 (nnnn) を0001からの連番にするか、今まで撮影した累積の番号にするかを設定します。 | OFF                              | P.68             |
|              | 言語選択                 | 液晶モニタの表示言語を設定します。   | —                                | P.68             |
| サウンド         | サウンド                 | 動作音の発音/消音を設定します。  | ON                               | P.67             |
|              | 操作音                  | ボタンの操作音を変更します。  | サウンドデータの<br>コピー、<br>消去が<br>できます。 | 電子音<br>小<br>P.70 |
|              | シャッター音               | シャッター音を変更します。   |                                  |                  |
|              | 連写音                  | 連写音を変更します。  |                                  |                  |
|              | フォーカスロック音            | フォーカスロック音を変更します。  |                                  |                  |
|              | セルフタイマ音              | セルフタイマ音を変更します。  |                                  |                  |
| ※2 フレームデータ管理 | フレームデータのコピー、削除ができます。 | —   | P.64                             |                  |


※1「設定リセット」でカメラ本体の設定を初期状態（ご購入時の設定）に戻しても、「日時設定」、「言語選択」は戻す前の設定が保持されます。




※2 P.I.F. ボタンを押して表示される画面で行います。

# カメラの設定を変更する

## 設定の変更のしかた

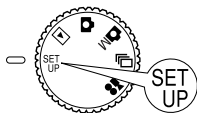
SETUPモードの基本的な設定のしかたを、「サウンドをOFFにする」を例にして説明します。

次の設定については、で示すページを参照してください。

- 起動画面設定の登録画面の登録 (P.69「起動画面に撮影した画像を表示する」)
- シャッター音など各動作音の設定 (P.70「動作音を変更する」)
- フレームデータ管理 (P.64「フレームデータをコピー / 削除する」)

### 1 モードダイヤルを回し、SETUPモードにします。

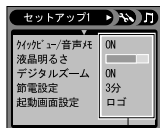
「セットアップ2」画面の「設定リセット」が選ばれた画面が表示されます。



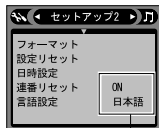
### 2 ◀▶ボタンを押して、設定する項目のあるメニュー画面（「サウンド」画面）を選びます。

メニューは、3画面あります。

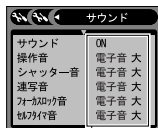
セットアップ1



セットアップ2

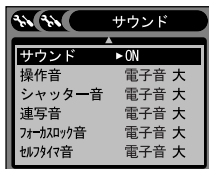


サウンド



現在の設定を表示

### 3 ▲▼ボタンを押して設定項目（「サウンド」）を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押します。



4

▲▼ボタンを押して設定値（「OFF」）を選び、OKボタンを押します。

設定を変更（フォーマットなどは実行）して、手順3の画面に戻ります。

★ MENU ボタンを押すと、新しい設定を取り消して、手順3の画面に戻ります。



OFF：操作音が鳴らないように設定

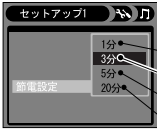

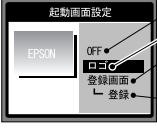

ON：操作音が鳴るように設定

続けて、別の設定を変更できます。

## ■セットアップ1・2画面設定値一覧

| クイックビュー/音声メモ   | フォーマット  |
|--|---|
| <p>設定しない<br/>クイックビューを設定する<br/>音声メモを設定する</p>  | <p>※ 画面は、内蔵メモリのフォーマット時<br/>初期化を実行<br/>初期化をキャンセル</p>   |
| <p>液晶明るさ</p> <p>十側に調節で明るくなる<br/>一側に調節で暗くなる<br/>この□を左右に動かして調節</p> <p>◀▶ボタンで調整します。</p> | <p>設定リセット</p> <p>初期設定に戻すを実行<br/>初期設定に戻すをキャンセル</p>   |
| <p>デジタルズーム</p> <p>デジタルズームを使用不可に設定<br/>デジタルズームを使用可に設定</p>                             | <p>日時設定</p> <p>表示方法を「年・月・日」「月・日・年」「日・月・年」から選択<br/>「12時間」「24時間」から選択</p> <p>年 月 日 時 分</p> <p>◀▶ボタンを押して変更箇所を選び、▲▼ボタンを押して設定値を選びます。<br/>(P.15 手順4)</p> |

カメラの設定を変更する

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>節電設定</b></p>  <p>節電モードに入るまでの時間を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1分</li> <li>3分</li> <li>5分</li> <li>20分</li> </ul> | <p style="text-align: center;"><b>連番リセット</b></p>  <p>メモリーカードをフォーマットまたは入れ替えた際は、リセットしない<br/>リセットする</p>                           |
| <p style="text-align: center;"><b>起動画面設定</b></p>  <p>何も表示しない<br/>ロゴ画面を表示<br/>登録された画像を表示<br/>表示する画像を登録する (P.69「起動画面に撮影した画像を表示する」)</p>                              | <p style="text-align: center;"><b>言語選択</b></p>  <p>日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、繁体中文、簡体中文から選択</p> <p>◀▶▲▼ボタンで選びます。</p> |

## フォーマット（初期化）について

初期化とは、メモリーカードを使用機器で書き込みできるフォーマットにすることです。次のメモリーカードは、必ず本機で初期化してから使用してください。

- 購入後初めて使用するメモリーカード
- パソコンで初期化したメモリーカード  
(パソコンや他のデジタルカメラで初期化したメモリーカードは、本機で読み書きできないことがあります。)

メモリーカードをセットしているときはメモリーカードを、セットしていないときはカメラ本体のメモリを初期化します。

初期化を行うと、メモリに保存されているすべてのデータが消去されます。フレームデータや動作音データも削除されます。初期化をする前に、大切なデータが保存されていないか、確認してください。

### メモ

- 一旦初期化を実行すると、途中で中止はできません。また、消去されたデータは復元できません。
- 連番リセットを「ON」にしておくと、メモリーカードのフォーマットと同時に、ファイルに付けられる連番もリセットされ、0001から開始されます。(P.68「連番リセット」)

### 注意

初期化中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出ししたりしないでください。メモリーカードが正常に動作しなくなるおそれがあります。

## 起動画面に撮影した画像を表示する

電源を入れたときに表示する画面（起動画面）に、撮影した画像を設定できます。

### ■画像の設定のしかた

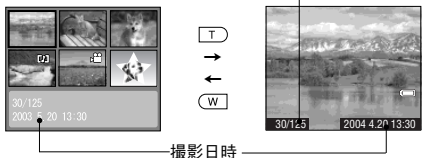
#### 1 「起動画面設定」画面の「登録」を選び、OKボタンを押します。

P.66「設定の変更のしかた」の手順1～4と同様の操作をして、「セットアップ1」→「起動画面設定」→「登録」を選びます。画像選択画面が表示されます。



#### 2 ▲▼◀▶ボタンを押して設定する画面を選び、OKボタンを押します。

[W] [T]ズームボタンを押すと、1コマ表示/6コマ表示を切り替えることができます。



#### メモ

- 1コマ表示時は、▲▼ボタンは無効となります。
- メモリーカードがセットされているときは、メモリーカードの画像から選ぶことができます。セットされていないときは、カメラ本体のメモリの画像から選ぶことができます。

#### 3 ▲▼ボタンを押して「登録画面」を選び、OKボタンを押します。

選んだ画面が表示されます



## 動作音を変更する

操作音、シャッター音、連写音、フォーカスロック音、セルフタイマ音の、音の種類や音量を変更できます。

ご購入時は、電子音の他に2つのサウンド音がカメラに登録されており、その中から選ぶことができます。付属のCD-ROMにも動作音ファイルが収納されています([Sounds]フォルダ)。エプソンのホームページ「<http://www.i-love-epson.co.jp>」から別の動作音ファイルをダウンロードして利用することもできます。

### メモ

- 動作音は、サウンド画面の「サウンド」がOFFに設定されているときは、設定することはできません。
- 「サウンド」設定でOFFにすると、すべての動作音が鳴らないように設定されます。「サウンド」設定をONにし各動作音の設定で、それぞれ動作音ごとに鳴らす/鳴らさないを設定することもできます。

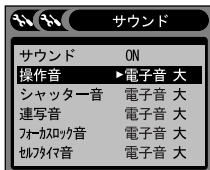
## ■動作音の設定のしかた

まず、「サウンド」画面で設定する動作音を選び、それぞれの動作音の動作音設定画面で設定項目を選びます。

### 1 「サウンド」画面の変更したい操作音を選びます。

P.66「設定の変更のしかた」の手順1～3と同様の操作をします。

動作音設定画面が表示されます。どの動作音を選んで、同じ内容の画面が表示されます。



### 2 ▲▼ボタンを押して設定項目を選び、OKボタンまたは▶ボタンを押します。

以降の操作は、設定項目によって異なります。☞で示すページに進んでください。

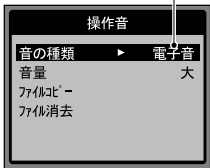
音の種類 / 音量 (☞P.71)

音種や音量を変更できます。

ファイルコピー / ファイル消去 (☞P.71)

サウンド音ファイルをカメラ本体のメモリからメモリーカードに、またはその逆にコピーしたり、消去したりできます。

現在選んでいる動作音名



## ■音の種類 / 音量

P.70「動作音の設定のしかた」の手順1～2の操作をして、「音の種類」または「音量」を選びます。

3

### ▲▼ボタンを押して設定値を選び、OKボタンを押します。

DISP ボタンを押すと選んでいる音を聞くことができます。

音の種類



電子音： 電子音を設定  
 サウンド1：サウンド1を設定  
 サウンド2：サウンド2を設定

音量



大： 音量を大に設定  
 小： 音量を小に設定  
 OFF： 鳴らさないように設定

設定を変更して、手順2の画面に戻ります。

★ MENU ボタンを押すと、設定を変更しないで手順2の画面に戻ります。

続けて、別の設定を変更できます。操作音を選び直す場合は、MENU ボタンを押して、「サウンド」画面に戻ります。

## ■ファイルコピー / ファイル消去

カメラ本体のメモリからメモリーカードへ、またはメモリーカードからカメラ本体のメモリへ動作音ファイルをコピーしたり、消去したりできます。

新しい動作音ファイルは、パソコンでEPSON Photo4 (P.75「付属ソフトウェアについて」) を使って、あらかじめメモリーカードにコピーし、メモリーカードからカメラにコピー (登録) します。

各動作音とも同じ手順で、動作音ファイルをコピー / 消去できます。

### メモ

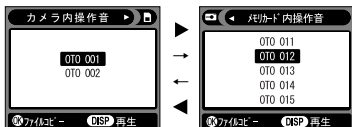
- カメラにコピー (登録) できる動作音ファイルは、各動作音にそれぞれ2つまでです。
- ご購入時に、カメラにはすでに2つの動作音ファイルが登録されています。新たにコピー (登録) する際は、既存の動作音ファイルを消去してください。既存の動作音ファイルは、必要に応じてメモリーカードにコピーしてバックアップをとっておいてください。
- 付属のCD-ROMに動作音ファイルが収納されています ([Sounds]フォルダ)。
- 動作音ファイルは、エプソンのホームページ「<http://www.i-love-epson.co.jp>」から入手することができます。

P.70「動作音の設定のしかた」の手順1～2の操作をして、「ファイルコピー」または「ファイル消去」を選びます。

3

◀▶ボタンを押してコピーまたは消去する動作音ファイルが入っているメモリを選びます。

「カメラ内操作音」または「メモリーカード内操作音」を選びます。



4

▲▼ボタンを押して、動作音ファイルを選びます。

DISPLAY ボタンを押すと、その動作音を聞くことができます。

★操作を中止する場合は、MENU ボタンを押します。手順2の画面に戻ります。



5

OK ボタンを押します。

ファイルコピーの場合

コピーを開始します。

コピーする側のメモリに十分な空き容量がない場合は、それを示すメッセージが表示され、約5秒後に手順4の画面に戻ります。

メモ

コピー先に同名のサウンド音があるときは、上書き確認のメッセージが表示されます。「実行」を選びOKボタンを押すと上書きコピーされます。

ファイル消去の場合

消去確認画面が表示されます。▲▼ボタンを押して「実行」を選び、OK を押します。消去されます。

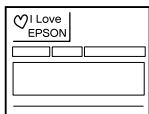
コピーまたは消去が完了すると、手順4の画面に戻ります。

続けて、再度コピー/消去ができます。動作音画面や「サウンド」画面に戻る場合は、目的の画面が表示されるまでMENU ボタンを押します。

## ■さらに動作音ファイルを追加する

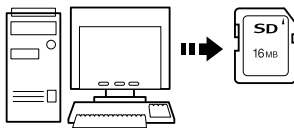
動作音ファイルは、エプソンのホームページから入手することができます。

### 動作音ファイルをインターネットから入手する



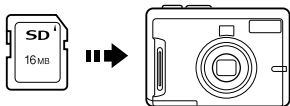
エプソンのホームページ「<http://www.i-love-epson.co.jp>」にアクセスして、動作音ファイルを入手します。  
付属のCD-ROMにも動作音ファイルが収録されています（[Sounds]フォルダ）。

### 動作音ファイルをメモリーカードへコピーする



パソコンに取り込んだ動作音ファイルを、EPSON Photo! 4を使ってメモリーカードへコピーします。EPSON Photo! 4は付属のCD-ROMに収録されていますのでインストールしてください。（[P.75](#)「付属ソフトウェアについて」）  
詳しい操作については、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

### カメラ本体へ登録する



SETUPモードで、メモリーカードにコピーした動作音ファイルを、カメラにコピー（登録）します。（[P.71](#)「ファイルコピー/ファイル消去」）  
コピー（登録）した動作音に変更します。（[P.71](#)「音の種類/音量」）

### ！ 注意

付属のCD-ROMに収録されている動作音ファイルやエプソンのホームページからダウンロードできる動作音ファイルには、再生時間が長いセルフタイマ音専用の動作音があります。この動作音はシャッター音やフォーカスロック音には使用できません。メモリーカードにセルフタイマ音専用の動作音ファイルがコピーされている場合、シャッター音、フォーカスロック音の登録時には表示されずコピー（登録）できません。

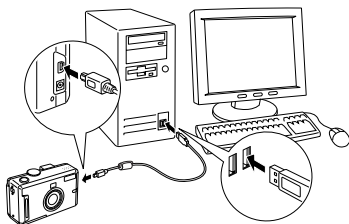
# パソコンで使う

## パソコンと接続する

カメラとパソコンを接続して画像をパソコンにコピーすると、インターネットで使ったり、パソコンで加工したりと、いろいろな使い方ができます。

### 接続のしかた

付属のパソコン接続ケーブルを使ってパソコンと接続します。



※ イラストは例です。パソコン側のUSBコネクタについては、パソコンの取扱説明書をお読みください。

USB コネクタは、奥までしっかりと差し込んでください。

コンピュータ側は、USB コネクタが奥までしっかりと差らないことがあります。突き当たるまで差し込んであれば問題ありません。

#### ！ 注意

- パソコンと接続する際は、必ずカメラの電源を切ってください。
- コネクタカバーは強く引っ張らないでください。破損するおそれがあります。

#### 💡 ポイント

- パソコン接続ケーブルを外すときは、「ハードウェアの安全な取り外し」を行いカメラの電源を切り、パソコン側のUSBコネクタを抜いてから、カメラ側のUSBコネクタを抜いてください。

#### 📝 メモ

- 撮影した画像は、メモリーカードの「¥ DCIM¥nnnEPSON」(nnn: 3桁の数字)フォルダに保存されています。
- 本機は、PRINT Image Matching II および Exif2.2 に対応しており、撮影時の露出や色情報に最適な設定で印刷できます。この機能を利用するには、お使いのソフトウェアやプリンタが各機能に対応している必要があります。ダイレクトプリント時には、この機能を活かした最適なプリントをお楽しみいただけます。

「EPSON Photo!4」、「MovieCapture」、「QuickTime」などのソフトウェアが付属しています。それらのソフトをインストールして画像を活用しましょう。

## ソフトウェアの紹介

CD-ROM に収録されているソフトウェアを紹介します。

### EPSON Photo!4 フォトフォー (カメラスタータ、オートダウンロード、Photo!4)

カメラスタータは、保存や印刷などに必要なソフトウェアを起動します。  
オートダウンロードは、カメラの写真をパソコンにダウンロード（保存）します。  
Photo!4 は、音声データをコピーしたり、写真の閲覧、コピーや削除をするためのソフトウェアです。写真をインターネットで公開することもできます（Upload to Web 機能）。

### EPSON MovieCapture ムービーキャプチャ

動画から連続した静止画を切り取り、EPSON PhotoQuickerでプリントするまでの手順をサポートするソフトウェアです。

ダイレクトエックス

#### DirectX

EPSON MovieCapture で動画を表示するために必要なソフトウェアです。

※P.77の操作ではインストールできません。EPSON MovieCapture を操作中にインストールを促すメッセージが表示されたら、EPSON MovieCapture のヘルプに従ってインストールしてください。

クイックタイム

### QuickTime 6

EPSON Photo!4 で動画を再生するために必要なソフトウェアです。

### EPSON L-410 USB ストレージドライバ

Windows 98/Meで動作するパソコンとデジタルカメラを接続するためのドライバです。Windows 2000/XP、Mac OS 9 (9.1以降)、Mac OS Xでは必要ありません。(Mac OS 8.6には対応していません。)



## ポイント

- CD-ROM にはいくつかのフレームデータが収録されています。  
(Windows : [LAYOUTS] フォルダ、Macintosh : [P.I.F. レイアウト集] フォルダ) ご利用ください。
- デジタルカメラでご利用になれるフレームデータとパソコンでご利用になれるフレームデータは異なります。
- 次のソフトウェアは、プリンタ付属のCD-ROMに収録されています。詳しくは、プリンタの取扱説明書を参照してください。
  - EPSON PhotoQuicker (画像を一覧し、印刷/加工できます。)
  - PIF DESIGNER (フレームデータを作成・編集できます。)
  - EPSON PRINT Image Framer Tool (フレームデータをEPSON PhotoQuickerに組み込んだり、メモリーカードに保存してP.I.F.撮影/印刷できるようにします。)

### メモ

すでにパソコンにインストールしてあるソフトウェアは、新たにインストールする必要はありません。

## ソフトウェアのインストール

### ■使用可能なコンピュータ

ソフトウェアをご利用いただけるコンピュータのOS（オペレーティングシステム）は、以下の通りです。

| ソフトウェア名称           | OS  |
|--------------------|---|
| EPSON Photo!4      | Windows 98/Me/2000/XP<br>Macintosh OS 9 (9.1 以降)、OS X (10.2 以降)   |
| EPSON MovieCapture | Windows 98/Me/2000/XP<br>(Macintosh OS 用ソフトは同梱していません。<br>QuickTime は Macintosh OS 9 (9.1 以降)、OS X (10.2 以降) には標準でインストールされています。) |
| DirectX            |   |
| QuickTime 6        |   |

### ポイント

WindowsでUSB接続するためには、以下の条件のいずれかを満たしている必要があります。

- Windows 98/Me/2000/XPのいずれかがプレインストール（購入時すでにインストール）されているコンピュータ。
- Windows 98 がプレインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ。
- Windows Me/2000 がプレインストールされていて、Windows XP にアップグレードしたコンピュータ。
- 上記いずれかのコンピュータで、USB に対応し、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ。

### ■インストールの準備

- 他のアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。
- ウイルス監視ソフトウェアをお使いの場合は、一時的に使用を中断してください。

## ■ Windows でのインストール方法

### ! 注意

- Windows 2000 にソフトウェアをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。
- Windows XP にインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログインする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。  
Windows XP をインストールしたときのユーザーは「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

Windows を起動してソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

1

右の画面が表示されたら、

- ① ウィルスチェックプログラムを終了して、
- ② [続ける] ボタンをクリックします。



### ポイント

右上の画面が表示されないときは

- Windows XP の場合  
[スタート] - [マイコンピュータ] の順でクリックし、下記①・②の順で起動します。
- Windows 98 /Me/2000 の場合  
デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、下記①・②の順で起動します。



- ① [マイコンピュータ] 中にある CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開き、



- ② [EPSetup] アイコンをダブルクリックします。

2

画面の内容を確認して、[同意する] ボタンをクリックします。

[同意しない] ボタンをクリックすると、インストールを終了します。



### 3 インストールするソフトウェアを確認して、[インストール] ボタンをクリックします。

初めてインストールする場合は、すべてのソフトウェアをインストールしてください。

Windows 2000/XP では、EPSON L-410 USB ストレージドライバは表示されません。



#### ポイント

インストールするソフトウェアを個別に指定する場合

[選択画面] ボタンをクリックして、インストールしたいソフトウェアにチェックを入れてください。

### 4 EPSON L-410 USB ストレージドライバ (Windows 98/Me のみ)、EPSON Photo!4、EPSON MovieCapture がインストールされます。



### 5 QuickTime 6 をインストールします。右の画面で [次へ] ボタンをクリックします。

その後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



#### ポイント

- すでにQuickTime 6以降がインストールされている場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- 右の画面では、情報を入力しなくても先へ進めます。入力せずに進む場合は、そのまま [次へ] ボタンをクリックしてください。



6

右の画面が表示されたら、[終了] ボタンをクリックして画面を閉じ、コンピュータからソフトウェア CD-ROM を取り出します。



以上でインストールは終了です。



### ポイント

- コンピュータの再起動を促すメッセージが表示された場合は、必ずコンピュータを再起動してください。
- DirectX は、前記の操作ではインストールできません。EPSON MovieCapture を操作中にインストールを促すメッセージが表示されたら、EPSON MovieCapture のヘルプに従ってインストールしてください。

### 「MyEPSON」登録のお願い

お客様に製品をより快適にお使いいただくために、「My EPSON」へのユーザー登録をお勧めします。「MyEPSON」に登録済みのお客様は、本製品を追加登録してください。

インストールが終了すると、デスクトップ上に「MyEPSON」登録用のショートカットアイコンができます。アイコンをダブルクリックして、「MyEPSON」へ登録を行ってください。



## Macintosh でのインストール方法

Macintosh を起動し、ソフトウェア CD-ROM をセットします。

### EPSON Photo!4 のインストール

1

**[EPSON Photo!4] アイコンをダブルクリックします。**



### ポイント

右の画面が表示されないときはデスクトップ上の [EPSON] アイコンをダブルクリックしてください。

OS 9.x のアイコン



OS X のアイコン



2

**[Photo!4 インストーラ] アイコンをダブルクリックします。**



### OS X の場合のみ

パスワードを求める画面が表示されます。①お客様が設定されている「名前」と「パスワード」を入力し、② [OK] ボタンをクリックしてください。



3

**[続ける] ボタンをクリックします。**



4

**画面の内容を確認して、[同意する] ボタンをクリックします。**

[同意しない] ボタンをクリックすると、インストールを終了します。



### ポイント

右の画面が表示されるときは

[続ける] ボタンをクリックします。ただし、他のアプリケーションソフトで作業中の文書などがある場合は、[中止] ボタンをクリックしてその文書を保存した後、手順1からインストールを始めてください。



5

【インストール】ボタンをクリックします。



6

EPSON Photo!4をインストールします。



7

右の画面が表示されたら、【終了】ボタンをクリックします。



## ■「MyEPSON」アシスタントのインストール

1

【MyEPSON】アイコンをダブルクリックします。



2

インストールするMac OSに準じて、  
【Installer (Mac OS 9)】アイコンまたは  
【Installer (Mac OS X)】アイコンをダブルクリックします。

その後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



## ■インストールが完了したら

1

ソフトウェア CD-ROM を取り出します。

デスクトップの画面上で、【EPSON】アイコンをゴミ箱に捨てます。  
(ドラッグ&ドロップします。)

以上で、インストールは終了です。

## ポイント

### 「MyEPSON」登録のお願い

お客様に製品をより快適にお使いいただくために、「MyEPSON」へのユーザー登録をお勧めします。「MyEPSON」に登録済みのお客様は、本製品を追加登録してください。

インストールが終了すると、デスクトップ上に「MyEPSON」登録用のショートカットアイコンができます。アイコンをダブルクリックして、「MyEPSON」へ登録を行ってください。



## ソフトウェアの起動方法

パソコンとカメラを接続し（[P.74](#)「パソコンと接続する」）、カメラの電源を入れ、ソフトウェアを起動します。

## ポイント

- パソコンと接続中は、カメラの液晶モニタは表示されません。
- QuickTime は、EPSON PhotoI4 で動画を再生するときに使用します。

## ■ Windows

### EPSON PhotoI4

[スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Camera] - [EPSON PhotoI4] - [EPSON PhotoI4] をクリックしてください。

EPSON PhotoI4 に含まれる EPSON カメラスタータは、デジタルカメラとコンピュータを接続すると自動的に起動します。

### EPSON MovieCapture

[スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON PhotoCapture] 内の [EPSON PhotoCapture1.0] をクリックしてください。

## ポイント

Windows XP の場合は、デジタルカメラとコンピュータを接続すると、Windows が実行する動作を選択する画面が表示されます。この場合は [CardMonitor] をクリックして [OK] ボタンをクリックします。詳しくは、EPSON PhotoI4 の電子マニュアルに記載されています。



## ■ Macintosh

EPSON PhotoI4 は、ハードディスク内の [EPSON PhotoI4] フォルダにあるアイコンをダブルクリックして起動します。

EPSON PhotoI4に含まれる EPSON カメラスタートは、デジタルカメラとコンピュータを接続すると自動的に起動します。



### ポイント

Mac OS X の場合は、デジタルカメラとコンピュータを接続すると iPhoto が自動的に起動します。

EPSON カメラスタートを起動するよう設定する場合は、EPSON PhotoI4 の電子マニュアルをご覧ください。

「MyEPSON」については P.82 「「MyEPSON」登録のお願い」をご覧ください。

## ソフトウェアの使い方を知りたいときは

ソフトウェアの使い方は、ソフトウェアと一緒にインストールされた電子マニュアルでご案内しています。

## ■電子マニュアルの起動方法 (Windows)

### EPSON PhotoI4

EPSON PhotoI4 を起動してから、[ヘルプ] メニューの [EPSON PhotoI4 ヘルプ] をクリックします。[スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Camera] - [EPSON PhotoI4] - [EPSON PhotoI4 オンラインヘルプ] から起動させることもできます。

### EPSON MovieCapture

[スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON MovieCapture] - [EPSON MovieCapture 1.0 操作マニュアル] の順でクリックします。

## ■電子マニュアルの起動方法 (Macintosh)

### EPSON PhotoI4

EPSON PhotoI4 を起動してから、[アップル] メニューの [EPSON PhotoI4 ヘルプ] をクリックします。Mac OS X の場合は、[EPSONPhotoI4] メニューをクリックします。

## EPSON L-410 ストレージドライバのアンインストール

EPSON L-410 ストレージドライバをアンインストールしたいときは、以下の手順で操作してください。なお、EPSON L-410 ストレージドライバをアンインストールしてしまうと、本機とコンピュータを接続できなくなりますのでご注意ください。

### ■ Windows 98/Me

1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

.....

2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

.....

3 [インストールと削除] タブ内で、[EPSON フォトデバイス USB ドライバ] を選択します。

.....

4 [追加と削除] ボタンをクリックします。

.....

5 [ファイル削除の確認] 画面で [OK] をクリックするとアンインストールが行われます。

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。  
「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設\*1してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

※1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのお勧め最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

## すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。  
追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『ソフトウェアCD-ROM』から簡単にご登録いただけます。\*2

※2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザ登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は当社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）  
今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

# 困ったときは

## 故障かな?と思ったら

現在の症状に当てはまるそれぞれの参照先をご覧ください。

🔍P.86 「カメラ本体のトラブル」

🔍P.88 「撮影した画像のトラブル」

🔍P.90 「印刷時のトラブル」

🔍P.91 「エラーメッセージが表示される」

### ! 注意

次のような場合は故障と考えられますので、すぐに電池を抜いて使用を中断し、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター(🔍裏表紙)にご連絡ください。

- カメラ本体、電池が極端に発熱する(非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる。
- 変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る。  
カメラ内部及び、ACアダプタ(別売)等には、高電圧の回路があります。取扱説明書で指示されている項目以外の分解はしないでください。感電のおそれがあります。

### ■お問い合わせいただく前に

質問や修理をご依頼される前に、「故障かな?と思ったら」をお読みください。

### ■故障のとき

カメラ本体には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターにお問い合わせください。エプソン修理センターの連絡先は裏表紙の一覧表をご覧ください。



## カメラ本体のトラブル

### ■カメラの電源が入らない

電池が正しくセットされていますか?

⊕⊖の向きに注意して正しくセットしてください。(🔍P.11「電池のセット」)

電池残量は十分にありますか?

電池残量が少なくなると、液晶モニタにが表示されます。新しい電池を準備してください。が点滅したら電池を交換してください。(🔍P.16「電池は残っていますか」)

## ■撮影できない

### 電源が入っていますか？

---

前ページ「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。

### 液晶モニタの残り撮影可能枚数の表示が0 になっていませんか？ メモリの残量は十分にありますか？

---

メモリの空き容量がなくなり、撮影できません。動画は、メモリの空き容量が少ない場合は撮影できないことがあります。(P.91「エラーメッセージが表示される」)  
データを消去するか、空き容量のあるメモリーカードをセットしてください。必要なデータはパソコンに転送して保存するなど必ずバックアップを取ってから、データを消去してください。

## ■撮影に時間がかかる

### シャッターボタンを一度に押し込んでいませんか？

---

シャッターボタンを一度に押し込んで撮影すると、ピント合わせや露出の決定などの処理を同時に行うため、シャッターボタンを押してから撮影されるまで長く感じられます。

## ■フラッシュが発光しない

### フラッシュの設定は正しいですか？

---

フラッシュが「発光禁止」に設定されているときには発光しません。目的に合ったフラッシュ設定に切り替えてください。(P.27「フラッシュの設定と切り替え」)

## ■液晶モニタに画像が表示されない

### カメラとパソコンを接続していませんか？

---

カメラとパソコンを接続しているときは、液晶モニタは表示されません。接続を外してください。

### 液晶モニタ表示を「モニタオフ」にしていませんか？

---

DISP ボタンを押して、液晶モニタの表示を切り替えてください。(P.21「モニタ表示を切り替える」)

## ■撮影後、液晶モニタの表示が消える

### 節電機能が働いていませんか？

節電設定が「1分」の場合、操作後1分後に節電状態になります。設定を変更することもできます。(☞P.18「節電状態になったら」、P.66「設定の変更のしかた」)

## ■液晶モニタの表示が暗い、または明るすぎる

### 液晶モニタの明るさを調整しましたか？

液晶モニタの明るさを調整してください。(☞P.66「設定の変更のしかた」)

## ■液晶モニタの縦方向に線が入る

### 強い光にカメラを向けていませんか？

液晶モニタで撮影時、強い光が入ると液晶モニタの縦方向に線が見えることがあります。

## ■全てのランプが同時に点滅した

### セルフタイマーランプ、イルミネーションランプ、撮影ランプ(上)、撮影ランプ(下)が同時に点滅していませんか？

一度、電源を切ってください。モードダイヤルを「撮影モード」にして、もう一度電源を入れてみてください。電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、電池を外しセットし直すか、ACアダプタを抜き接続し直すかして、電源を入れてください。それでも全てのランプが同時に点滅する場合は、カメラの故障とと思われますので、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センター(☞裏表紙)へご相談ください。

## 撮影した画像のトラブル

## ■ぼけている、ピントが合っていない

### ピント合わせを正しく行いましたか？

本機はオートフォーカス機構を搭載しています。シャッターボタンを軽く押すことで(半押し)、ピントが合います。(☞P.22「シャッターを切る(静止画)」)

### 被写体からの距離は正しいですか？

通常の撮影では被写体から50cm以上離れて撮影してください。マクロ撮影では、11cm～50cmの距離でピントが合います。(☞P.26「近くのを撮影する(接写する)」)

## ぼけている、ピントが合っていない

- ・ 遠くを撮影しているのにマクロモードになっていませんか。マクロモードを解除してください。
- ・ 近くを撮影しているのにマクロモードが解除されていませんか。マクロモードに設定してください。(☞P.26「近くのを撮影する(接写する)」)

## レンズが汚れていませんか?

レンズが汚れていたら、市販のプロアやエアブラシで汚れを吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。(☞P.95「本体の清掃」)

## 撮影時にレンズに手を触れませんでしたか?

撮影時にレンズに手を触れてしまうとレンズが汚れて画像がぼけてしまいます。レンズに触れないようにするためにも、カメラは正しく持つように心がけましょう。(☞P.21「カメラを正しく構える」) また、レンズが汚れてしまったら、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。(☞P.95「本体の清掃」)

## 撮影時に手ぶれしませんでしたか?

手ぶれを防ぐためには、脇をしっかりと締めてカメラを持ってください。手ぶれが心配な場合や、夜景などの暗い場所での撮影は、三脚をお使いください。

## 画像が暗すぎる

- ・ フラッシュは、遠くには届きません。(☞P.26「フラッシュの届く範囲」)
- ・ 露出をプラスに補正してみてください。露出をプラスに補正することで、明るく撮影することができます。(☞P.51「画質の明るさを補正する——露出補正」)
- ・ 画面内に極端に明るい光があると、それによって全体が暗くなる場合があります。強い光が画面内に入らないようにしてください。または、フラッシュを使用してみてください。

## 画像が明るすぎる

- ・ 強い光源に向かって撮影していませんか?  
カメラの向きを変えるなど、撮影方法を工夫してみてください。
- ・ 被写体までの距離が近い場合、フラッシュを使わずに撮影してください。
- ・ 露出をマイナスに補正してみてください。

## 画像の一部が欠けている

レンズをふさいで撮影しませんでしたか?

手、ストラップ、服などで、レンズがふさがれた可能性があります。

## 印刷時のトラブル



### ポイント

印刷時のトラブルは、カメラ側のトラブルだけでなく、プリンタからの原因によっても起こります。併せてプリンタの使用説明書も参照してください。

### ■印刷できない

#### カメラ、プリンタの電源は入っていますか？

電源を確認してください。印刷時は、カメラ、プリンタ両方の電源を入れてください。

#### ケーブルは正しく接続されていますか？

接続には、同梱のケーブルを使い、接続を確認して使用してください。

#### インクがなくなっていないですか？

インクがなくなっていると印刷できません。黒、カラーインクのうち1色がなくなっても印刷できません。

#### 用紙は正しくセットされていますか？

用紙がセットされていないと印刷できません。紙詰まりもチェックしてください。

#### 対応プリンタを使用していますか？

お使いのプリンタがカメラに対応しているか確認してください。(P.35「対応プリンタ」)

### ■印刷がきれいにできない / 印刷にムラがある

#### プリントヘッドの目詰まりはありませんか？

プリンタ用ユーティリティでメンテナンスを行ってください。(P.45「プリンタ用ユーティリティ」)

#### 使用している用紙は正しいですか？

使用している用紙を確認してください。

- ・ 普通紙へは印刷できません。
- ・ 印刷設定の用紙種類と使用している用紙が合っていないと、適正な印刷結果は得られません。

よりきれいに印刷するためには、印刷設定の画像を「きれい」に設定してください。(P.43「印刷設定を設定する」)

## エラーメッセージが表示される

## ■撮影モード時

※再生モード時にも表示されることがあります。

| メッセージ                                       | 原因と対処方法   |
|---|---|
| メモリーカードがロックされています。                          | 原因:メモリーカードのライトプロテクトが働いていて、書き込みができません。<br>対処:ライトプロテクトを解除してください。(P.13「SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止機能)について」)  |
| メモリーカードが異常です。※                              | 原因:装着しているメモリーカードに異常があります。<br>対処:メモリーカードのメーカーへお問い合わせください。  |
| メモリーカードがありません。※                             | 原因:メモリーカードが入っていません。<br>対処:メモリーカードをカメラ本体にセットしてください。(P.13「メモリーカード(別売)のセット」)   |
| カメラ内(またはメモリーカード内)のメモリの空き容量が足りません。           | 原因:メモリがいっぱいです。特に動画の場合は、次の空き容量がないと撮影できません。<br>サイズ 160×120ピクセルの場合:約316KB以上<br>サイズ 320×240ピクセルの場合:約616KB以上<br>サイズ 640×480ピクセルの場合:約2416KB以上<br>対処:不要なデータを消去するか、メモリを初期化するか、空き容量のあるメモリーカードをセットして、十分な空き容量を作ってください。 |
| このフレームは使えません。                               | 原因:フレームファイルサイズが、制限サイズを超えているため登録できません。<br>対処:使用できるフレームを再登録してください。(P.64「フレームデータを管理する」)  |
| カメラ内フレームは使用できません。<br>メモリーカード内フレームを使用してください。 | 原因:メモリーカードに999個のフレームが登録されているとき、P.I.F.撮影をするため、メモリーカードに同じフレームデータが登録されていないカメラ内のフレームを選んだ。<br>対処:メモリーカード内のフレームを選ぶか、メモリーカード内のフレームデータを消去(P.64「フレームデータを管理する」)してください。  |
| P.I.F.フレームがないか、壊れています。                      | 原因:本機で扱えないフレームか、データが壊れています。<br>対処:使用できるフレームを再登録してください。(P.64「フレームデータを管理する」)  |

## ■再生モード時

| メッセージ                                    | 原因と対処方法   |
|--|---|
| 画像がありません。                                | 原因：メモリに画像がありません。<br>対処：本機で撮影済みのメモリーカードをセットするか、撮影してから再生モードで画像をご覧ください。  |
| 再生できません。                                 | 原因：再生できない画像を再生しようとしています。<br>他社製カメラで撮影した画像やパソコンからコピーした画像は、再生できないものがあります。<br>対処：本機で撮影した画像を再生してください。                       |
| この画像は消去できません。ロックされているか、消去できない画像です。       | 原因：本機以外の機器で撮影された画像か、ロックされた画像を消去しようとした。<br>対処：対象画像を撮影されたカメラで消去するか、ロックを解除して消去してください。                                      |
| ロックされているか、消去できない画像がありました。                | 原因：全画像を消去しようとしたが、本機以外の機器で撮影された画像か、ロックされた画像がありました。<br>対処：対象画像を撮影したカメラで消去するか、ロックを解除してください。                                |
| P.I.F. ファイルがないか、壊れています。                  | 原因：P.I.F.確認時、再生するために必要なファイルが見つかりません。<br>対処：フレームのリンクが外れているか、フレームが変更あるいは消去されています。<br>フレームの再登録をしてください。(P.64「フレームデータを管理する」) |
| 音声メモがないか、壊れています。                         | 原因：本機で扱えない音声メモデータか、データが壊れています。<br>対処：音声メモを録音した機器で再生してください。  |
| カメラ本体のメモリ（またはメモリーカード）に登録できるフレーム数がいっぱいです。 | 原因：フレームが登録できる数は、カメラ本体は約50個（フレームデータの容量による）まで、メモリーカードは最大999個までです。<br>対処：フレームデータを消去してください。(P.64「フレームデータを管理する」)             |

## ■ダイレクトプリントモード時

| メッセージ                             | 原因と対処方法   |
|-----------------------------------|---|
| カメラ内(またはメモリーカード内)のメモリの空き容量が足りません。 | 原因: メモリが足りません。USB DIRECT-PRINT対応プリンタ (P.35) 使用時にアルバム印刷を行う場合は、メモリの空き容量が5KB以上必要です。<br>対処: 不要なデータを消去して、十分な空き容量を作ってください。不要なデータがない場合は、必ずバックアップを取ってから、データを消去してください。 |
| 電池残量が少なくなっています。ACアダプタを接続してください。   | 原因: 電池残量が少なくなっています。<br>対処: 電池残量が少ないと印刷途中で停止してしまいます。別売のACアダプタ (P.8) を使用してください。   |
| プリンタの接続状態と、電源が入っていることを確認してください。   | 原因: ケーブル未接続、非対応プリンタと接続、その他の機器と接続、プリンタ電源が入っていないかのいずれかです。<br>対処: 対応プリンタかどうかを確認し (P.35 「対応プリンタ」)、プリンタとケーブルを正しく接続 (P.36 「プリンタと接続する」) した後、プリンタの電源を入れてください。         |
| インクが残り少ないため、この機能を実行できませんでした。      | 原因: ヘッドクリーニングを実行するために必要なインク残量が足りません。<br>対処: お使いのプリンタの取扱説明書に従ってインクを交換するか、ヘッドクリーニングを中止してください。   |
| 用紙をセットしてください。                     | 原因: プリンタに用紙がセットされていません。<br>対処: プリンタに用紙をセットし、プリンタの用紙ボタンを押してください。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。   |
| プリンタにエラーが発生しています。                 | 原因: プリンタにエラーが発生しています。<br>対処: プリンタの電源を一旦切り、再度入れ直してください。それでもエラーが解除されない場合は、電源を切り、プリンタ内部に異物(輸送用の保護具、用紙など)が入っていないか確認し、再度電源をいれてください。                                |
| 印刷できない画像です。                       | 原因: 印刷できない画像を印刷しようとしてしました。<br>対処: 他の画像をお選びください。   |
| プリンタが印刷できません。再度実行しますか?            | 原因: プリンタがビジー状態で、要求を受け付けられません。<br>対処: しばらく待ってから再度実行してください。   |

| メッセージ                                   | 原因と対処方法  |
|---|--|
| プリンタが印刷できません。CD/DVD印刷モードでないことを確認してください。 | 原因：CD/DVD印刷ができるプリンタで印刷しようとした場合、プリンタのCD-R/DVD-Rトレイが開いていると印刷することができません。<br>対処：プリンタのCD-R/DVD-Rトレイを閉じてください。  |
| 通信が切断されました。                             | 原因：ケーブルが抜かれるか、プリンタの電源が切れました。<br>対処：ケーブルを差し直すか電源を入れて、再度最初から印刷し直してください。  |
| 印刷できない画像がXX枚ありました。                      | 原因：本機以外の機器で、撮影あるいは、作成した画像を印刷しようとした可能性があります。印刷できない画像を除いて印刷を実行しました。<br>対処：対象画像を撮影あるいは、画像を作成した機器やパソコンから印刷してください。                                    |
| P.I.F. 関連ファイルがないか、壊れているため、この画像は印刷できません。 | 原因：P.I.F. 付き画像印刷時に必要なファイルが見つかりませんでした。<br>対処：フレームのリンクが外れているか、フレームが変更あるいは消去されています。フレームの再登録をしてください。(参照P.64「フレームデータを管理する」)                           |
| この機能は使えません。                             | 原因：USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ (参照P.35) 使用時に、プリンタ用ユーティリティ機能、または4面割付印刷を実行しようとした。<br>対処：ユーティリティ機能は、お使いのプリンタの取扱説明書に従って、プリンタ本体の操作で実行してください。4面割付印刷は行えません。 |
| 対応プリンタではありません。                          | 原因：接続されているプリンタがダイレクトプリントに対応していません。<br>対処：ダイレクトプリントに対応しているプリンタをご使用ください。(参照P.35「対応プリンタ」)   |
| プリンタ内部の部品調整が必要です。                       | 原因：プリンタ内部の部品調整が必要なため、印刷を実行できませんでした。<br>対処：プリンタをお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センター (参照裏表紙) へご相談ください。   |

以上のことを確認しても解決しない場合は、プリンタをお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センター (参照裏表紙) へご相談ください。

## カメラのお手入れについて

良好な状態でお使いいただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

### ！ 注意

AC アダプタ（別売）を使用している場合は、必ずAC アダプタを取り外してからお手入れを行ってください。感電のおそれがあります。

## カメラが汚れたときは

### ■本体の清掃

外装ケースの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかな布を浸し、布をよく絞ってから汚れをふき取った後、乾いた柔らかい布でふいてください。

レンズが汚れたら、市販のプロアやエアブラシで汚れを吹き飛ばすか、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。

液晶モニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

### ■電池などの清掃

電池の⊕⊖端子部と、カメラの電池カバー内側の⊕⊖接点部に付着した汚れは、乾いた柔らかい布できれいにふき取り、常にきれいな状態でお使いください。

電池接点が汚れていると、電池寿命が短くなる場合があります。

### ！ 注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は、絶対に使用しないでください。変形、変質するおそれがあります。

カメラの電池室内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります。

## カメラを保管するときは

### ！ 注意

カメラは精密な電子部品で作られていますので、保管場所には十分ご注意ください。また、「安全にお使いいただくために」（P.1）、「サービス/サポートのご案内」（P.97）をよくお読みください。

カメラを長期間使用しない場合は、電池を外して、涼しいところに保管してください。

# 仕様

|                  |      |   |
|------------------|------|---|
| 撮影素子             |      | 1/2.5型カラーエリア CCD センサ / 原色フィルタ   |
| 有効画素数            |      | 407万画素  |
| 記録画素数            | 静止画  | 高精細:2304×1728画素 精細:1600×1200画素 標準:640×480画素   |
|                  | 動画   | 高精細:640×480画素 精細:320×240画素 標準:160×120画素   |
| 画像ファイル形式         |      | 静止画:JPEG 準拠 (Exif2.2) / PRINT Image Matching II<br>動画:AVI形式 (MotionJPEG)                                      |
| カメラファイルシステム      |      | DCFに準拠、DPOF対応   |
| 記録メディア           |      | 内蔵メモリ16MB<br>SDメモリーカード(最大容量512MBまで) マルチメディアカード(最大容量512MBまで)<br>※マルチメディアカードは日立製およびSanDisk製で、MMC規格V2.1以降のもの。    |
| レンズ              | 焦点距離 | f=5.6~16.8mm(35mmフィルムカメラ換算34mm-102mm相当)   |
|                  | F値   | F=2.8 (Wide端) ~ F4.9 (Tele端)  |
|                  | 絞り   | 電磁駆動アイリス二段切り替え F2.8/F4.8 (Wide) F4.9/F8.4 (Tele)  |
|                  | レンズ  | レンズ構成6群7枚   |
|                  | ズーム  | 沈胴式光学3倍ズームレンズ   |
|                  | マクロ  | 可能(オートフォーカス) マクロ時:11cm~50cm (Wide側固定)   |
| デジタルズーム          |      | 2倍、3倍(光学3倍ズームと合わせて9倍まで撮影可能)   |
| フォーカスモード         |      | オートフォーカス  |
| 撮影距離             |      | 0.5m~∞(通常時)<br>0.11m~0.5m(マクロ時:ズームレンズWide側固定)   |
| シャッター速度          |      | 静止画:1秒~1/2000秒 動画:1/32秒~1/2000秒   |
| TTL露出制御          |      | TTL中央重点測光式プログラムAE   |
| ホワイトバランス         |      | TTL測光方式オートホワイトバランス<br>(オート/デイルイト/曇天/白熱灯/蛍光灯/水銀灯)  |
| 撮影感度             |      | 固定感度(ISO 100/200/400相当)/オート   |
| ファインダ            |      | 光学実像式ファインダ  |
| フラッシュ            |      | 自動調光式(オート発光/発光禁止/強制発光/赤目軽減オート/スローシンク口)  |
| セルフタイマ           |      | 作動時間2秒/10秒  |
| 撮影モード            |      | ノーマル、ポートレート、風景、マクロ  |
| 液晶モニタ            |      | 1.5型透過型TFTカラー液晶モニタ  |
| インターフェイス         |      | 専用USB・シリアル兼用インターフェイス<br>(マストレージクラス対応)   |
| 電源 <sup>*1</sup> |      | リチウム電池パック(CR-V3)1本<br>単3形ニッケル水素電池(Ni-MH)2本<br>単3形アルカリ乾電池(LR6)2本<br>単3形ニッケルマンガン電池(ZR6)2本<br>単3形ニッケル乾電池(ZR6G)2本 |
| 外部電源             |      | 専用ACアダプタ (Model CPAD3B) (別売品)<br>入力:AC 100V ~ 240V、50 ~ 60Hz 出力:DC 3.4V 2.5A                                  |
| サイズ(W×H×D)       |      | 92.5mm×62mm×31.5mm(突起部分を除く)   |
| 重量               |      | 156g(電池含まず)   |
| 環境条件             | 温度   | 動作時:5℃~35℃  |
|                  | 湿度   | 動作時:30%~80%   |

※1:単3形マンガン乾電池、単3形リチウム電池、単3形ニカド電池はご使用になれません。

## カラリオインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間：裏表紙の一覧表をご覧ください。

電話番号：裏表紙の一覧表をご覧ください。

## インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売ホームページ：<http://www.i-love-epson.co.jp>

## ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。

所在地：裏表紙の一覧表をご覧ください。

## パソコンスクール

専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的に教えます。お問い合わせは裏表紙の一覧表をご覧ください。

## 保守サービスのご案内

### ■保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。

記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については保証書をご覧ください。

## ■保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

◎お買い求めいただいた販売店

◎エプソン修理センター（裏表紙の一覧表をご覧ください）

受付時間：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）9:00～17:30

## ■保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

| 種類          | 概要   | 修理代金                     |  |
|-------------|--|--------------------------|--|
|             |  | 保証期間内                    | 保証期間外                                  |
| 持込/<br>送付修理 | 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。  | 無償                       | 基本料+技術料+部品代<br>修理完了品をお届けしたときにお支払いください。 |
| ドア to ドア    | <ul style="list-style-type: none"><li>指定の運送会社をご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。</li><li>保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</li></ul> | 有償<br>(ドア to ドアサービス料金のみ) | 有償<br>(ドア to ドアサービス料金+修理代)             |

## ■画像のバックアップについてのご注意

カメラの故障により修理を依頼される場合、バックアップが可能な状態であれば画像のバックアップを必ずお取りください。

修理状況によっては、画像が消失してしまうことや、画像を復元できないことがあります。撮影内容の補償、または撮影できなかったことによる損失の補償等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■数字・アルファベット

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| <b>A</b>                      |    |
| ACアダプタ .....                  | 8  |
| <b>D</b>                      |    |
| DirectX .....                 | 75 |
| DPOF .....                    | 62 |
| <b>E</b>                      |    |
| EPSON MovieCapture .....      | 75 |
| EPSON Photol4 .....           | 75 |
| <b>P</b>                      |    |
| PHOTO PC DIRECT 対応プリンタ .....  | 35 |
| PRINT Image Framer (P.I.F.)   |    |
| P.I.F. 撮影 .....               | 29 |
| P.I.F. 撮影した画像を見る .....        | 31 |
| PRINT Image Framer とは .....   | 29 |
| フレームデータのコピー / 削除 .....        | 64 |
| フレームを付ける / とる .....           | 32 |
| <b>S</b>                      |    |
| SD メモリーカード .....              | 13 |
| SETUP モード .....               | 65 |
| <b>U</b>                      |    |
| USB DIRECT-PRINT 対応プリンタ ..... | 35 |

## ■ひらがな・カタカナ

|                   |                |
|-------------------|----------------|
| <b>ア</b>          |                |
| 圧縮率 .....         | 50             |
| <b>イ</b>          |                |
| 印刷                |                |
| アルバム印刷 .....      | 38, 41         |
| 印刷設定 .....        | 43             |
| 印刷方法 .....        | 38             |
| 印刷予約 (DPOF) ..... | 56, 62, 103    |
| 選んで印刷 .....       | 40             |
| この画像を印刷 .....     | 39             |
| 全画像を印刷 .....      | 39             |
| ダイレクトプリント .....   | 34             |
| <b>エ</b>          |                |
| 液晶モニター→モニター表示     |                |
| エラーメッセージ .....    | 91             |
| <b>オ</b>          |                |
| オート撮影モード .....    | 19             |
| 音声メモ .....        | 55, 61, 65, 52 |

**カ**

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 画像               |                |
| 静止画 .....        | 48, 50         |
| 動画 .....         | 53             |
| 画像サイズ            |                |
| 静止画 .....        | 50             |
| 動画 .....         | 53             |
| 画像のコピー .....     | 56, 62, 103    |
| 感度 .....         | 48, 51         |
| <b>キ</b>         |                |
| 起動画面設定 .....     | 65, 68, 69     |
| <b>ク</b>         |                |
| クイックビュー .....    | 52             |
| 設定 .....         | 65, 67         |
| <b>ケ</b>         |                |
| ケーブル             |                |
| パソコン接続ケーブル ..... | 8, 35, 74      |
| プリンタ接続ケーブル ..... | 8, 36          |
| 言語設定 .....       | 14, 65, 68     |
| <b>コ</b>         |                |
| 光学ズーム .....      | 25             |
| コピー              |                |
| 画像 .....         | 62             |
| 動作音 .....        | 71             |
| フレームデータ .....    | 64             |
| <b>サ</b>         |                |
| 再生               |                |
| 再生モード .....      | 31             |
| スライドショー .....    | 60             |
| 再生メニュー .....     | 56             |
| サウンド .....       | 65             |
| 撮影可能枚数 .....     | 16             |
| 撮影情報 .....       | 20, 32         |
| 撮影メニュー .....     | 49, 50, 51, 52 |
| 撮影モード .....      | 19             |
| 撮影ランプ .....      | 10             |
| <b>シ</b>         |                |
| シーンモード .....     | 48, 50         |
| シャッター            |                |
| シャッターボタン .....   | 9, 22          |
| 全押し .....        | 22, 54         |
| 半押し .....        | 22             |

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 消去              |             |
| 1枚ずつ消去 .....    | 33          |
| 全画像消去 .....     | 56, 58, 103 |
| 動作音ファイル .....   | 71          |
| 連写1グループ消去 ..... | 103         |
| 連写グループ消去 .....  | 56, 59      |
| 連続画像消去 .....    | 56, 58, 103 |
| 初期化→フォーマット      |             |

|                  |             |
|------------------|-------------|
| <b>ス</b>         |             |
| ズームボタン .....     | 10, 25      |
| スライドショー .....    | 56, 60, 103 |
| スローシンクロモード ..... | 27          |

|              |            |
|--------------|------------|
| <b>セ</b>     |            |
| 設定リセット ..... | 65, 67     |
| 節電機能 .....   | 18, 65, 68 |
| セルフタイマ ..... | 28         |

|              |    |
|--------------|----|
| <b>ソ</b>     |    |
| 操作音 .....    | 65 |
| ソフトウェア       |    |
| インストール ..... | 76 |
| 起動 .....     | 82 |

|              |    |
|--------------|----|
| <b>タ</b>     |    |
| 対応プリンタ ..... | 35 |

|                   |            |
|-------------------|------------|
| <b>テ</b>          |            |
| デジタルズーム .....     | 25, 65, 67 |
| 手ぶれ警告 .....       | 23         |
| 電源を入れる / 切る ..... | 14         |
| 電池                |            |
| 電池 .....          | 11         |
| 電池カバーの開閉 .....    | 11         |
| 電池残量の確認 .....     | 16         |
| 電池のセット .....      | 11         |

|             |        |
|-------------|--------|
| <b>ト</b>    |        |
| 動画          |        |
| 再生 .....    | 55     |
| 撮影 .....    | 53     |
| 消去 .....    | 33, 58 |
| 動画モード ..... | 19     |
| モニタ表示 ..... | 20     |

|            |            |
|------------|------------|
| <b>ニ</b>   |            |
| 日時設定 ..... | 14, 65, 67 |

|                    |            |
|--------------------|------------|
| <b>フ</b>           |            |
| 風景モード .....        | 50         |
| フォーカスロック .....     | 22         |
| フォーマット (初期化) ..... | 65, 67, 68 |
| フラッシュ .....        | 26         |
| プリンタのメンテナンス .....  | 45         |

|                 |        |
|-----------------|--------|
| <b>ホ</b>        |        |
| ポートレートモード ..... | 50     |
| ボタン .....       | 10     |
| ホワイトバランス .....  | 48, 51 |

|                  |    |
|------------------|----|
| <b>マ</b>         |    |
| マクロ撮影 .....      | 26 |
| マニュアル撮影モード ..... | 19 |
| マルチメディアカード ..... | 13 |


|                    |        |
|--------------------|--------|
| <b>メ</b>           |        |
| メモリーカード            |        |
| フォーマット (初期化) ..... | 68     |
| メモリーカードのセット .....  | 12, 13 |

|                     |        |
|---------------------|--------|
| <b>モ</b>            |        |
| モニタ表示 .....         | 20     |
| 明るさ調整 .....         | 65, 67 |
| オート撮影モード .....      | 20     |
| 再生モードの表示切替 .....    | 32     |
| 撮影可能枚数 .....        | 16     |
| 撮影モードの表示切替 .....    | 21     |
| 絞り値 / シャッター速度 ..... | 23     |
| セルフタイマ .....        | 28     |
| 電池残量 .....          | 16     |
| 動画モード .....         | 20     |
| フラッシュ切り替え .....     | 27     |
| マニュアル撮影モード .....    | 20     |
| 連写モード .....         | 20     |

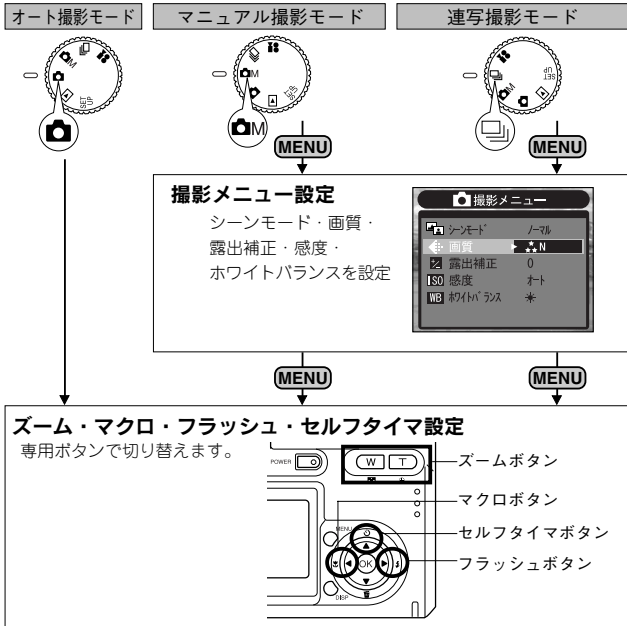
|                |    |
|----------------|----|
| <b>ラ</b>       |    |
| ライトプロテクト ..... | 13 |

|              |        |
|--------------|--------|
| <b>レ</b>     |        |
| 連写           |        |
| グループ消去 ..... | 59     |
| 連写モード .....  | 19     |
| 連番リセット ..... | 65, 68 |

|            |        |
|------------|--------|
| <b>ロ</b>   |        |
| 露出補正 ..... | 48, 51 |

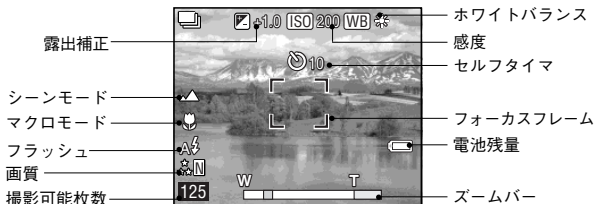
 は、枠内のボタンを押すことを意味しています。

## 静止画撮影の設定



クイックリファレンス

各設定は画面で確認できます。



## P.I.F. 撮影

撮影モード



P.I.F.

## フレーム追加・変更・削除

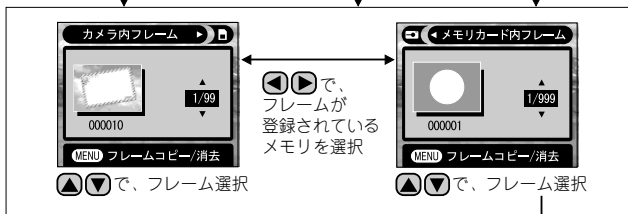
再生モードで、フレームの追加・変更・削除をしたい画像を表示します。



P.I.F.



P.I.F.



OK

OK

フレームなしの場合



OK



フレームに合わせて撮影



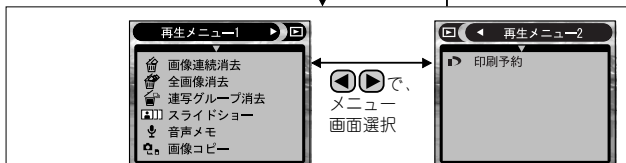
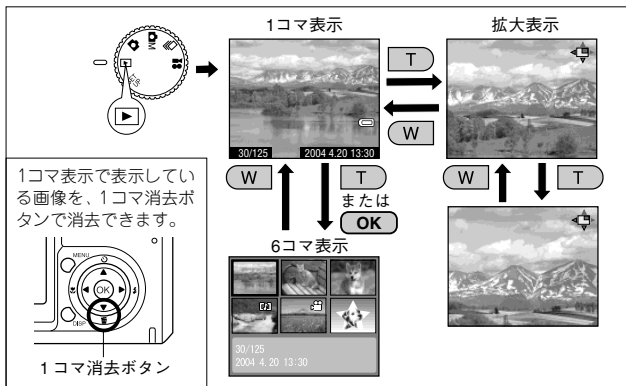
新しく選んだフレームが付けられる



フレームなしに変更

## 再生モード

再生モードにすると、1コマ表示で表示されます。表示のしかたを変更できます。



▲▼で設定項目を選び、OK ボタンで設定変更画面を表示  
再生メニューで次の操作を行うことができます。

**連続画像消去:** 1コマずつ画像を確認しながら、連続して画像データを消去できます。

**全画像消去:** メモリ内のすべての画像データを消去できます。

**連写グループ消去:** 連写されたグループ内の画像データをすべて、または選んで消去できます。

**スライドショー:** メモリ内のすべてのデータを撮影順に連続して自動再生します。

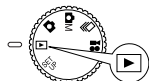
**音声メモ:** 静止画に音声メモを添付したり、消去したりできます。

**画像のコピー:** カメラ本体メモリの全画像データを、メモリーカードにコピーできます。

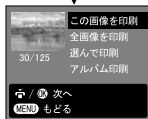
**印刷予約(DPOF):** 印刷予約ができます。

## 印刷のしかた

印刷は、再生モードで行います。



▲▼で、印刷方法を選択



▲▼ または OK



▲▼ または OK



◀▶ で面付を  
選択



▲▼ または OK

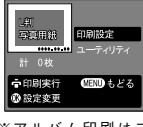
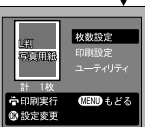
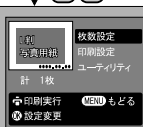
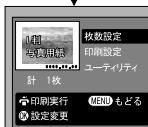


◀▶ で画像選択

▲▼ で枚数を指定

▲▼ または OK

▲▼で、設定項目を選択



※アルバム印刷はフ  
レーム不可。

▲▼

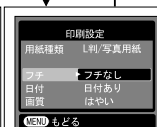
OK MENU

OK MENU

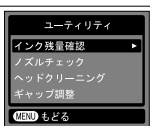
OK MENU



印刷枚数を指定



印刷設定を指定



プリンタをチェック  
※USB DIRECT-PRINT  
対応プリンタはユー  
ティリティ不可。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示。）

## 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

# EPSON

## ●EPSON販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ等の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したEPSONのホームページです。

※なお、EPSONから購入後も安心。買付後のお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。  
**FAQ** <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

## ●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付いたします。

| 拠点名      | 所在地  | TEL          |
|----------|--|--------------|
| 札幌修理センター | 〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟 | 011-219-2886 |
| 松本修理センター | 〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス棟                    | 0263-86-7660 |
| 東京修理センター | 〒191-0012 東京都千代田市日野347 エプソンサービス棟                 | 042-584-8070 |
| 福岡修理センター | 〒812-0041 福岡市博多区吉塚6-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟  | 092-622-8922 |
| 沖縄修理センター | 〒900-0027 那覇市下町5-21 沖縄通商ビル2F エプソンサービス棟           | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

\*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

\*修理について詳しくは、EPSONサービスホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

## ●ドアドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアドアサービスとはお客様のご希望に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお取り取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。\*梱包は業者が行います。

ドアドアサービス受付電話 **0570-090-090**(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

\*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式会の電話サービスの名称です。

\*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご連絡ください。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

| 受付拠点     | 引き取り地域      | TEL          | 受付拠点     | 引き取り地域   | TEL          |
|----------|-------------|--------------|----------|----------|--------------|
| 札幌修理センター | 北海道全域       | 011-219-2886 | 福岡修理センター | 中四国・九州全域 | 092-622-8922 |
| 松本修理センター | 本州(中国地方を除く) | 0263-86-9995 | 沖縄修理センター | 沖縄本島全域   | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く) ※松本修理センター4365日受付可。

\*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通課支店まで代行いたします。\*ドアドアサービスについて詳しくは、EPSONサービスホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

## ●オンラインフォーム・ソリューションセンター

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

**0570-004116**(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00(土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く))

\*ナビダイヤルとは、NTTコミュニケーションズ株式会の電話サービスの名称です。

\*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご連絡ください。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけません。

\*ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、下記の最寄りの窓口にお問い合わせください。

札幌(011) 222-7931 仙台(022) 214-7624 東京(042) 585-8555 名古屋(052) 202-9531 大阪(06) 6399-1115  
 広島(082) 240-0430 福岡(092) 452-3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00(土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く))

## ●FAXインフォメーション

EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011) 221-7911 東京(042) 585-8500 名古屋(052) 202-9532 大阪(06) 6397-4359 福岡(092) 452-3305

## ●スクール(エプソン・デジタル・カレッジ)講習会のご案内

東京 TEL(03) 5321-9738 大阪 TEL(06) 6205-2734

【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

\*スケジュールなどはホームページでご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/school/>

## ●ショールーム

\*詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル9F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンアートスタジオおひさま 〒399-8201 長野県南木曾郡豊科町南穂高1115 スンガーデン安曇野内

【開館時間】 10:00～18:00(水曜日、弊社指定休日を除く)

## ●MyEPSON

EPSON製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、EPSONに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリントももっと楽しくお使いいただけるサービスです。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。おま、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンに質問に答えて会員登録。

## ●EPSONディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

## ●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びEPSON/OAサプライ株式会社(ホームページアドレス <http://www.epson-supply.co.jp/> またはフリーダイヤル0120-251528)でお買い求めください。

## エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

## セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2003.11(A)

Exif Print



PRINT Image Matchingは、デジタルカメラによって生成されたイメージのヘッダーに含まれるコマンド(カラーセッティング、イメージ/カメラ情報)をベースとした画像処理技術を示しています。PRINT Image Matchingの仕様書 Version 2.0 に対する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



| Ver. | 日付        | 改訂ページ | 改訂内容 |
|------|-----------|-------|------|
| 00   | 2004/2/12 | -     | 新版   |